

美祿市地域福祉推進のためのアンケート調査 報告書

令和7年2月

美祿市

《目 次》

第1章 調査方法	1
第2章 調査結果.....	2
あなたご自身について.....	2
1 お住まいの地域の状況について.....	7
2 暮らしの困りごとについて.....	16
3 災害時の助け合いについて.....	26
4 地域活動について	28
5 ボランティア活動について.....	34
6 福祉のサービスについて	38
7 これからの地域福祉のあり方について	43

第1章 調査方法

1. 調査の目的

福祉に対する意識や地域活動への参加状況などを把握するとともに、意見、提言を広くお聞きし、より充実した計画づくりに役立てる基礎資料として活用することを目的としてアンケート調査を実施するものです。

2. 実施概要

- 調査対象者 : 令和6年11月30日現在、美祢市に住んでいる市民
- 対象数 : 今回の調査対象者は、18歳以上の市民の中から1,500人の方を無作為選択
- 調査期間 : 令和6年12月26日～令和7年1月24日まで
- 調査方法 : 郵送による配布回収及びネットアンケートによる回答

3. 回収結果

	配布数	紙回答数	ネット回答数	合計回答数	回収率
市民	1,500件	558件	105件	663件	44.2%

4. 調査集計にあたっての留意事項

○回答結果は小数点以下第2位を四捨五入しています。このため、単回答（複数の選択肢から1つだけを選ぶ形式）の場合、合計値が「100.0」にならない場合があります。

○複数回答（2つ以上の回答を選ぶ形式）における割合の単位はパーセントとしています。この場合、回答は有効標本数全体に対して各々の割合を示すものであり、各選択肢の回答を合計すると「100.0」を超える場合があります。

○本報告書における「n」「SA」「MA」「FA」「数量」は、それぞれ

- 「n」 = サンプル数のこと
- 「SA」 = 単回答のこと（Single Answer の略）
- 「MA」 = 複数回答のこと（Multiple Answer の略）
- 「FA」 = 自由回答のこと（Free Answer の略）
- 「数量」 = 数量回答のこと

を示します。

○図表中において「無回答」とある項目については、「回答のなかったもの」、もしくは「判別ができなかったもの」を表しています。

○本文中の設問の選択肢が長い場合は、簡略化している場合があります。

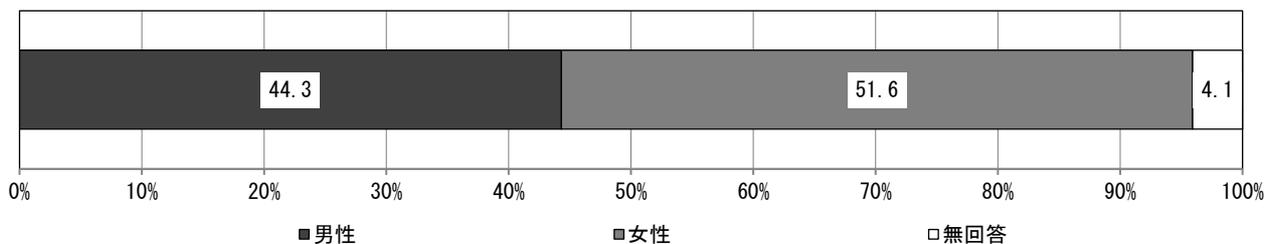
第2章 調査結果

あなたご自身について

問1① 性別

「女性」が51.6%、「男性」が44.3%となっています。

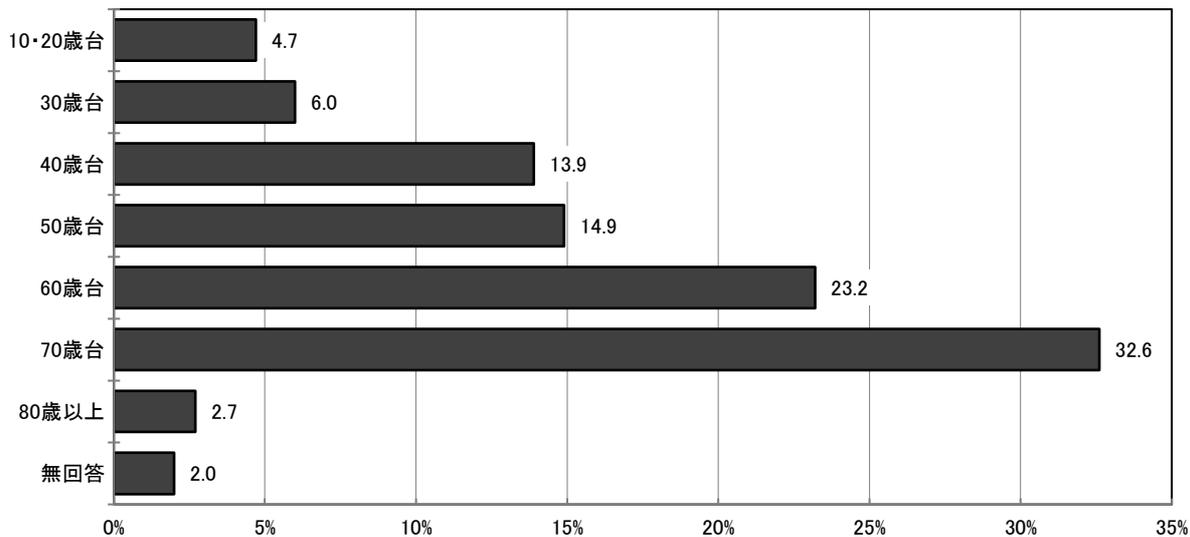
(SA) n=663



問1② 年齢

「70歳台」が32.6%で最も高くなっています。次いで「60歳台」が23.2%、「50歳台」が14.9%が続いています。

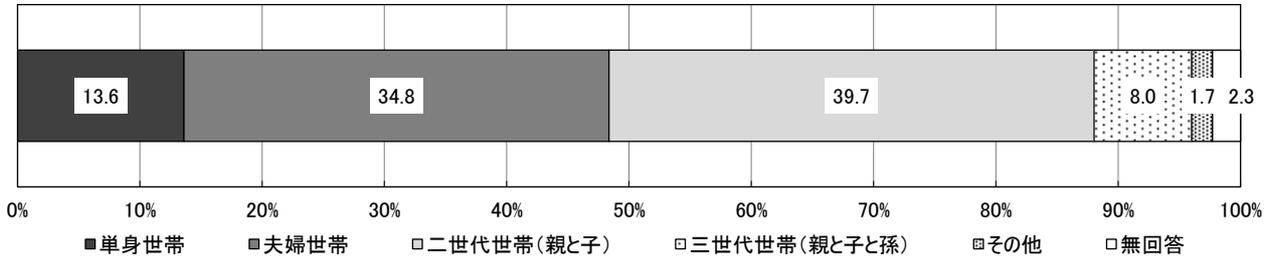
(SA) n=663



問1③ 家族構成

「二世帯世帯(親と子)」が 39.7%で最も高くなっています。次いで「夫婦世帯」が 34.8%、「単身世帯」が 13.6%で続いています。

(SA) n=663



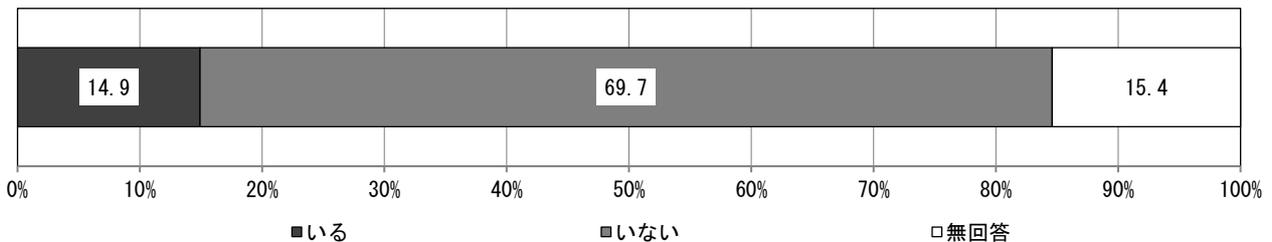
【その他回答】

その他	その他
義姉と義妹(私)	親と夫婦と子
兄と妹	祖父母、孫
四世代世帯	弟と2人暮らし
子と孫	夫婦と子ども
親、子、義妹	

問1③ あなたご自身の家族に高校生以下の子どもがいますか。(SA)

「いる」は 14.9%となっています。

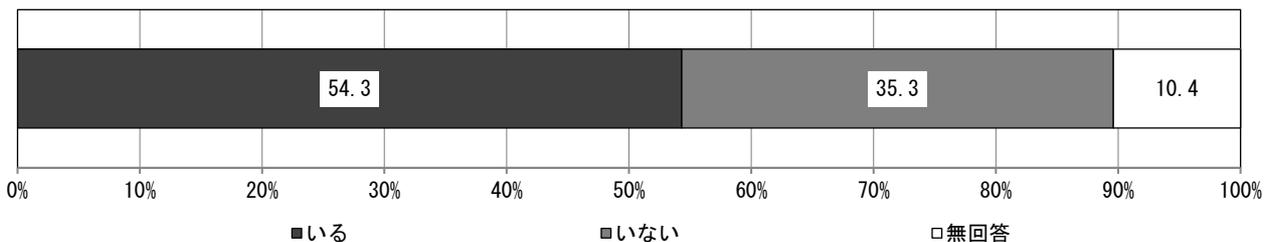
(SA) n=663



問1③ あなたご自身の家族にあなた自身を含め、65歳以上の人がいますか。(SA)

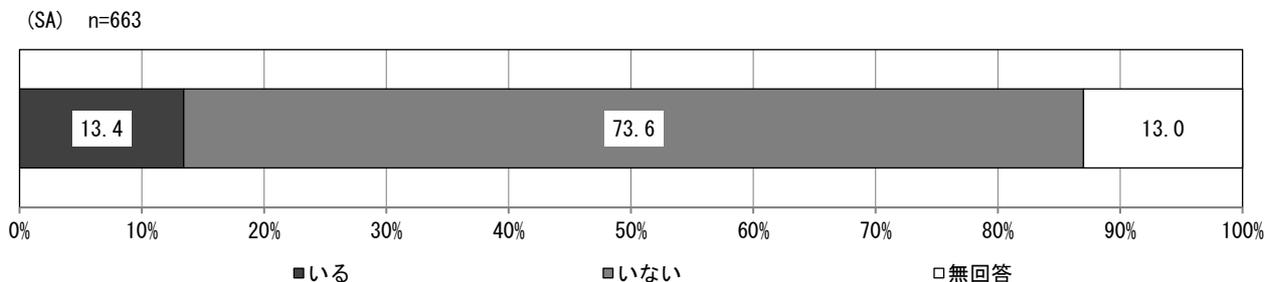
「いる」が 54.3%を占めています。

(SA) n=663



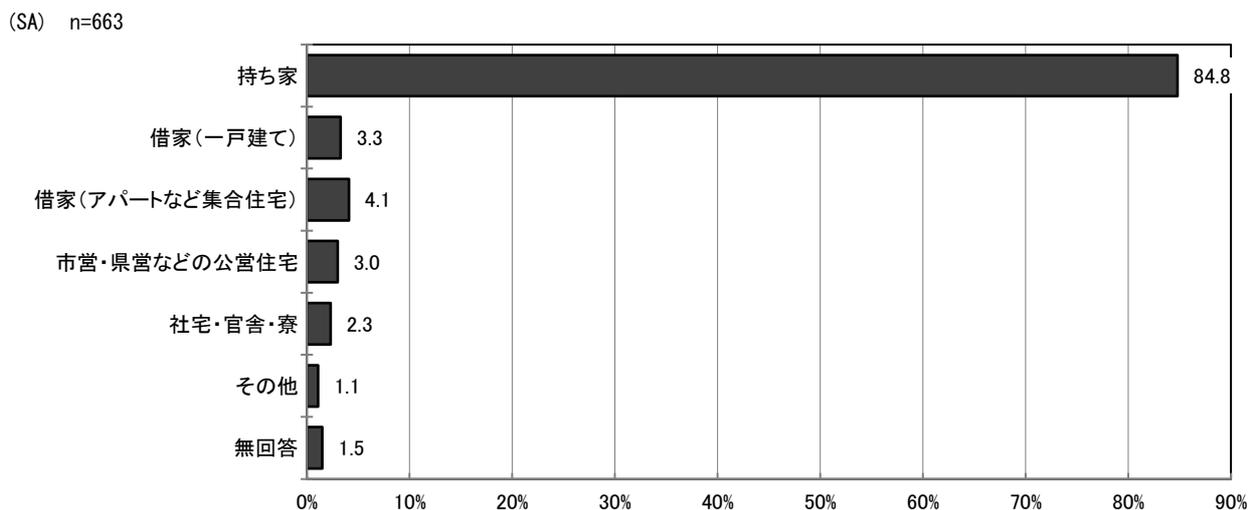
問1③ あなたご自身の家族にあなた自身を含め、障害者手帳（身体・知的・精神）をお持ちの方がいますか。（SA）

「いる」は 13.4%となっています。



問1④ 住まい（SA）

「持ち家」が 84.8%で最も高くなっています。



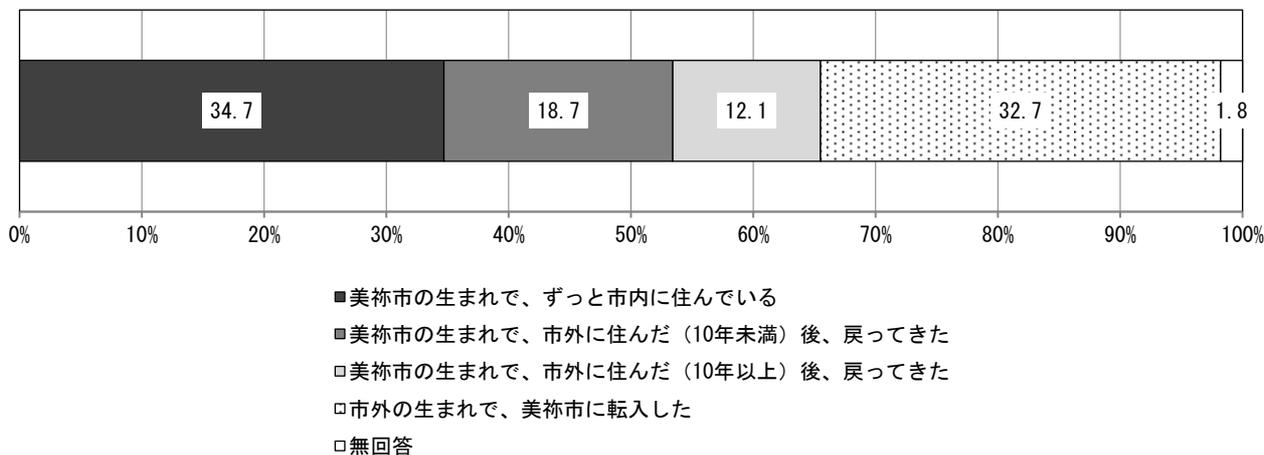
【その他回答】

その他		類似回答数
家族持ち家(家族所有)		3
福祉施設		3

問1⑤ 居住歴

「美祢市の生まれで、ずっと市内に住んでいる」が34.7%で最も高くなっています。次いで「市外の生まれで、美祢市に転入した」が32.7%、「美祢市の生まれで、市外に住んだ(10年未満)後、戻ってきた」が18.7%で続いています。

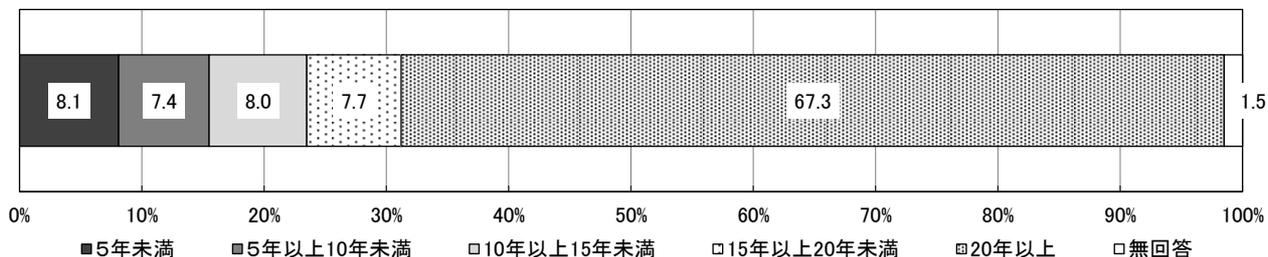
(SA) n=663



問1⑥ 居住年数

「20年以上」が67.3%で最も高くなっています。

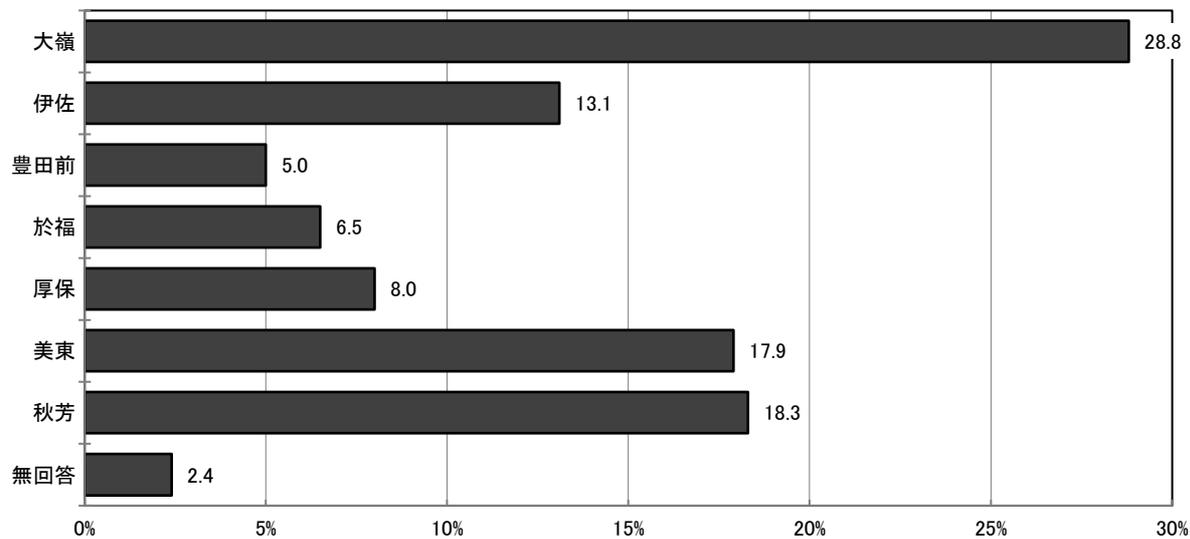
(SA) n=663



問1⑦ 居住地区

「大嶺」が28.8%で最も高くなっています。次いで「秋芳」が18.3%、「美東」が17.9%が続いています。

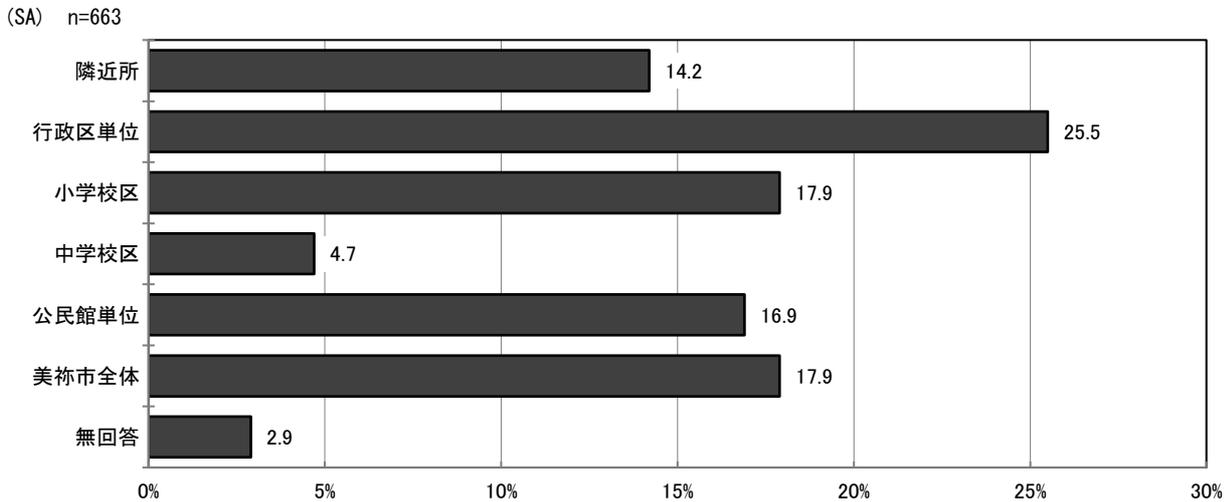
(SA) n=663



1 お住まいの地域の状況について

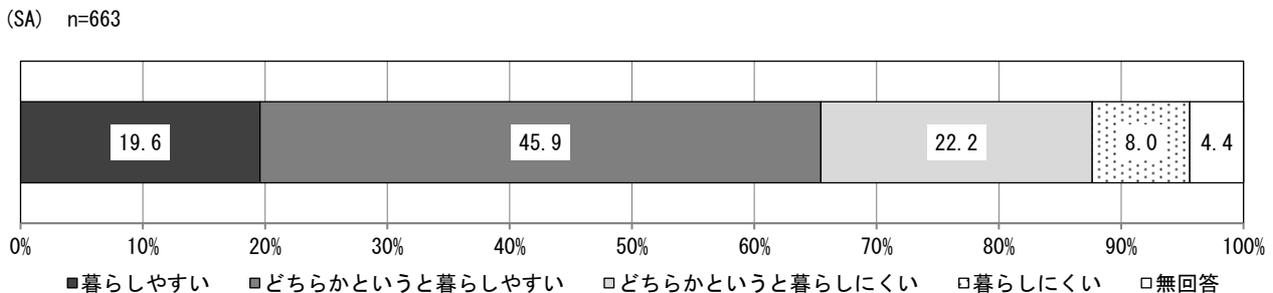
問2 あなたにとって「地域」とは、どの範囲を思い浮かべますか。最もあてはまるものを選択してください。

「行政区単位」が25.5%で最も高くなっています。次いで「小学校区」「美祿市全体」が17.9%で続いています。



問3 あなたがお住まいの「地域」（問2で回答した地域）は暮らしやすいですか。

「どちらかという暮らしやすい」が45.9%で最も高くなっています。次いで「どちらかという暮らしにくい」が22.2%、「暮らしやすい」が19.6%で続いています。



<問3 × 年齢別クロス>

「暮らしにくい」と「どちらかという暮らしにくい」を合わせた割合では『50歳台』で高くなっています。

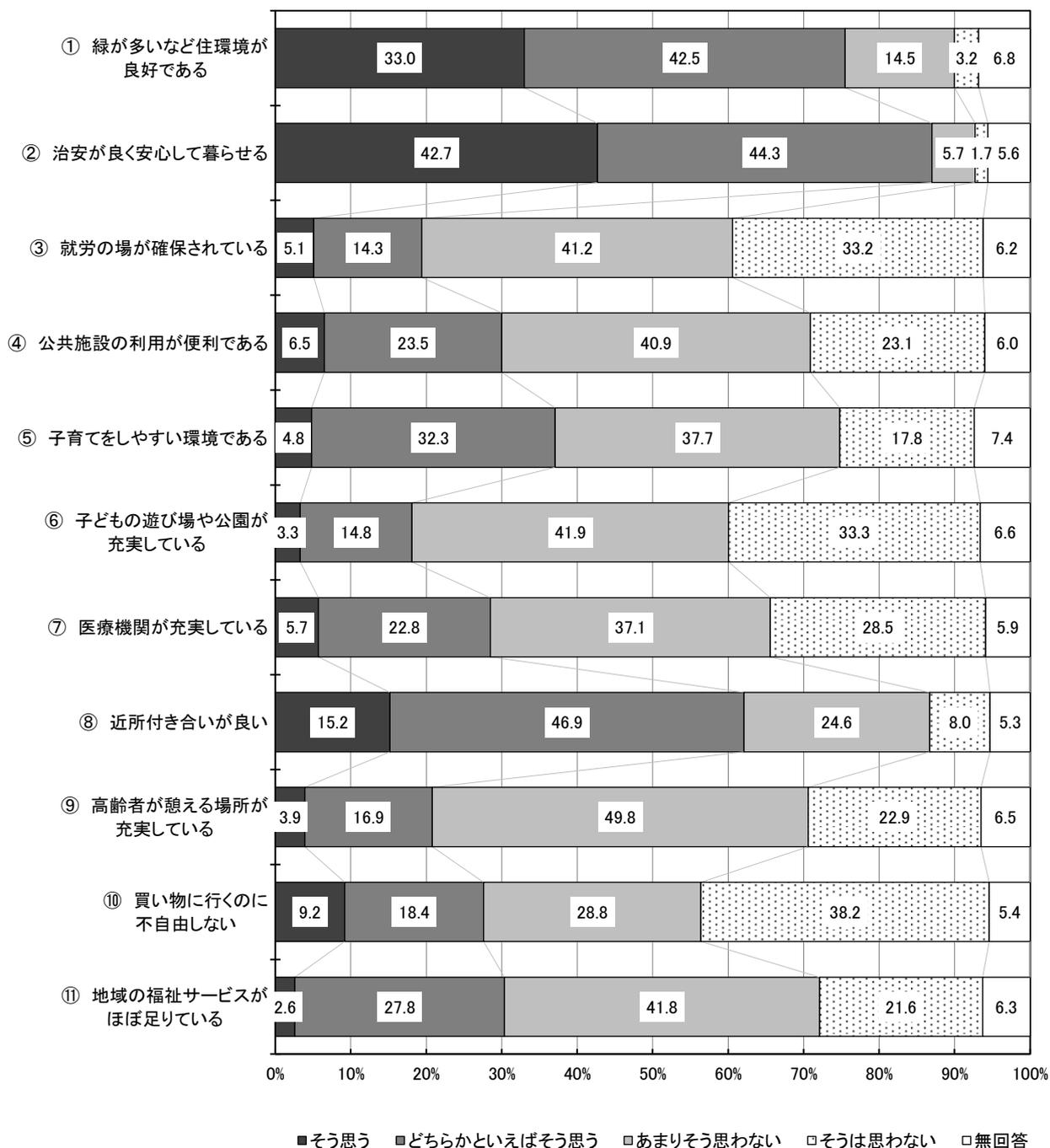
	全体 n=663	10・20歳台 n=31	30歳台 n=40	40歳台 n=92	50歳台 n=99	60歳台 n=154	70歳台 n=216	80歳以上 n=18
暮らしやすい	19.6	12.9	17.5	20.7	16.2	16.2	24.5	33.3
どちらかという暮らしやすい	45.9	58.1	42.5	51.1	40.4	46.8	46.8	38.9
どちらかという暮らしにくい	22.2	22.6	22.5	20.7	29.3	26.6	17.6	16.7
暮らしにくい	8.0	6.5	15.0	5.4	13.1	9.1	5.6	-
無回答	4.4	-	2.5	2.2	1.0	1.3	5.6	11.1

問4 お住まいの地域の生活環境について、どう思いますか。

「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合では、『② 治安が良く安心して暮らせる』『① 緑が多いなど住環境が良好である』『⑧ 近所付き合いが良い』の順に高くなっています。

「そうは思わない」と「あまりそう思わない」を合わせた割合では、『⑥ 子どもの遊び場や公園が充実している』『③ 就労の場が確保されている』『⑨ 高齢者が憩える場所が充実している』の順に高くなっています

(各 SA) n=663



<問4④公共施設の利用が便利である × 地区別クロス>

「そうは思わない」と「あまりそう思わない」を合わせた割合では『豊田前』『厚保』で高くなっています。

	全体 n=663	大嶺 n=191	伊佐 n=87	豊田前 n=33	於福 n=43	厚保 n=53	美東 n=119	秋芳 n=121
そう思う	6.5	8.9	3.4	6.1	4.7	5.7	6.7	6.6
どちらかといえばそう思う	23.5	26.7	33.3	12.1	23.3	11.3	24.4	19.0
あまりそう思わない	40.9	38.2	40.2	48.5	41.9	41.5	46.2	37.2
そうは思わない	23.1	20.9	17.2	27.3	18.6	37.7	17.6	29.8
無回答	6.0	5.2	5.7	6.1	11.6	3.8	5.0	7.4

<問4⑤子育てをしやすい環境である × 地区別クロス>

「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合では『大嶺』で高くなっています。

	全体 n=663	大嶺 n=191	伊佐 n=87	豊田前 n=33	於福 n=43	厚保 n=53	美東 n=119	秋芳 n=121
そう思う	4.8	7.9	2.3	3.0	4.7	3.8	4.2	4.1
どちらかといえばそう思う	32.3	41.4	31.0	24.2	25.6	37.7	31.1	23.1
あまりそう思わない	37.7	33.0	40.2	33.3	37.2	30.2	41.2	43.8
そうは思わない	17.8	12.0	20.7	24.2	18.6	22.6	17.6	21.5
無回答	7.4	5.8	5.7	15.2	14.0	5.7	5.9	7.4

<問4⑥子どもの遊び場や公園が充実している × 地区別クロス>

「そうは思わない」と「あまりそう思わない」を合わせた割合では『厚保』で高くなっています。

	全体 n=663	大嶺 n=191	伊佐 n=87	豊田前 n=33	於福 n=43	厚保 n=53	美東 n=119	秋芳 n=121
そう思う	3.3	4.7	4.6	-	2.3	1.9	4.2	1.7
どちらかといえばそう思う	14.8	22.0	20.7	6.1	14.0	1.9	15.1	6.6
あまりそう思わない	41.9	43.5	39.1	45.5	34.9	39.6	40.3	44.6
そうは思わない	33.3	23.6	27.6	36.4	37.2	49.1	37.0	40.5
無回答	6.6	6.3	8.0	12.1	11.6	7.5	3.4	6.6

<問4⑦医療機関が充実している × 地区別クロス>

「そうは思わない」と「あまりそう思わない」を合わせた割合では『豊田前』『厚保』で高くなっています。

	全体 n=663	大嶺 n=191	伊佐 n=87	豊田前 n=33	於福 n=43	厚保 n=53	美東 n=119	秋芳 n=121
そう思う	5.7	9.9	5.7	3.0	9.3	-	3.4	4.1
どちらかといえばそう思う	22.8	26.7	24.1	15.2	11.6	17.0	26.9	21.5
あまりそう思わない	37.1	32.5	46.0	39.4	34.9	34.0	34.5	42.1
そうは思わない	28.5	25.1	17.2	36.4	30.2	45.3	31.9	25.6
無回答	5.9	5.8	6.9	6.1	14.0	3.8	3.4	6.6

<問4⑧近所付き合いが良い × 地区別クロス>

「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合では『豊田前』で高くなっています。

	全体 n=663	大嶺 n=191	伊佐 n=87	豊田前 n=33	於福 n=43	厚保 n=53	美東 n=119	秋芳 n=121
そう思う	15.2	11.0	9.2	15.2	27.9	22.6	11.8	24.0
どちらかといえばそう思う	46.9	42.9	51.7	60.6	25.6	43.4	61.3	40.5
あまりそう思わない	24.6	28.3	27.6	15.2	30.2	22.6	17.6	24.0
そうは思わない	8.0	13.1	6.9	3.0	2.3	7.5	5.9	5.0
無回答	5.3	4.7	4.6	6.1	14.0	3.8	3.4	6.6

<問4⑩買い物に行くのに不自由しない × 地区別クロス>

「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合では『大嶺』で高くなっています。

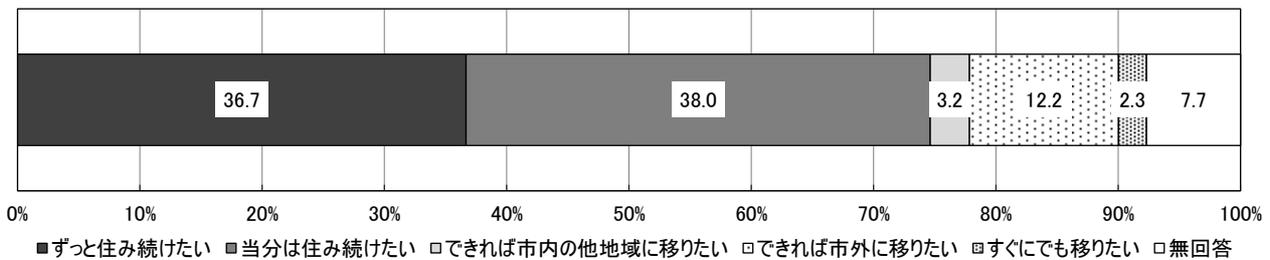
「そうは思わない」と「あまりそう思わない」を合わせた割合では『秋芳』で高くなっています。

	全体 n=663	大嶺 n=191	伊佐 n=87	豊田前 n=33	於福 n=43	厚保 n=53	美東 n=119	秋芳 n=121
そう思う	9.2	16.2	10.3	3.0	4.7	7.5	7.6	4.1
どちらかといえばそう思う	18.4	26.2	21.8	12.1	30.2	20.8	14.3	4.1
あまりそう思わない	28.8	30.9	36.8	27.3	27.9	18.9	31.1	23.1
そうは思わない	38.2	21.5	27.6	48.5	25.6	49.1	42.9	62.0
無回答	5.4	5.2	3.4	9.1	11.6	3.8	4.2	6.6

問5 あなたは、現在お住まいの地域に今後も住みたいですか。

「当分は住みたい」が 38.0%で最も高くなっています。次いで「ずっと住みたい」が 36.7%、「できれば市外に移りたい」が 12.2%で続いています。

(SA) n=663



<問5 × 年齢別クロス>

『10・20 歳台』では「当分は住みたい」「すぐにも移りたい」、『70 歳台』『80 歳以上』では「ずっと住みたい」の割合が高くなっています。

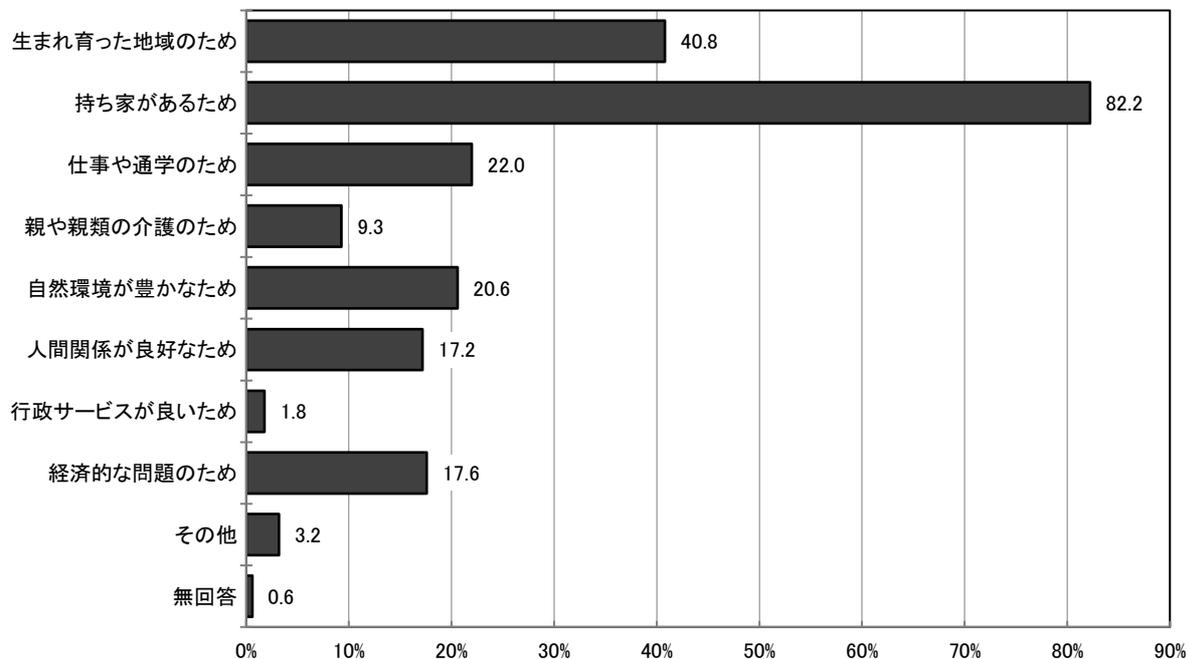
	全体 n=663	10・20歳台 n=31	30歳台 n=40	40歳台 n=92	50歳台 n=99	60歳台 n=154	70歳台 n=216	80歳以上 n=18
ずっと住みたい	36.7	9.7	25.0	29.3	21.2	40.3	48.1	55.6
当分は住みたい	38.0	61.3	45.0	42.4	47.5	37.0	29.6	27.8
できれば市内の他地域に移り	3.2	3.2	2.5	2.2	4.0	1.9	3.2	11.1
できれば市外に移りたい	12.2	25.8	12.5	18.5	21.2	11.7	4.6	-
すぐにも移りたい	2.3	-	10.0	1.1	4.0	1.9	0.9	-
無回答	7.7	-	5.0	6.5	2.0	7.1	13.4	5.6

問5で「ずっと住み続けたい」「当分は住み続けたい」と回答された方にお伺いします。

問5-1 現在お住まいの地域に住み続けたいと思う理由はなんですか。

「持ち家があるため」が 82.2%で最も高くなっています。次いで「生まれ育った地域のため」が 40.8%、「仕事や通学のため」が 22.0%で続いています。

(MA) n=495



【その他回答】

その他	類似回答数
山や田などの土地があるため(維持存続・管理のため)	6
医療機関が充実している	1
運転免許資格があるから	1
高齢だから	1
子どもの就学のため	1
神仏を守る、維持する	1
人間関係でもめたくない	1
店舗があるため	1
農業があるため	1
買い物に行く場所が近い	1
両親がいるから	1

<問5-1 × 性別クロス>

『男性』は『女性』に比べて、「生まれ育った地域のため」の割合が高くなっています。

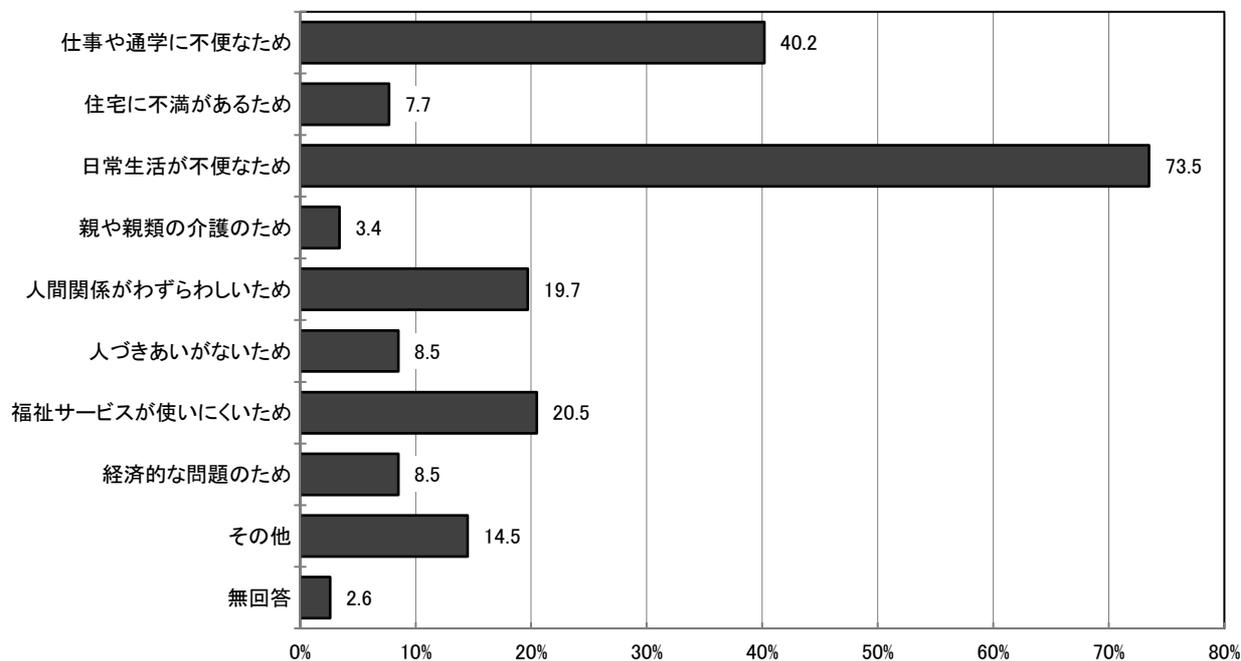
	全体 n=495	男性 n=227	女性 n=247
生まれ育った地域のため	40.8	51.5	30.4
持ち家があるため	82.2	81.5	83.0
仕事や通学のため	22.0	24.7	21.1
親や親類の介護のため	9.3	7.0	11.7
自然環境が豊かなため	20.6	18.5	23.1
人間関係が良好なため	17.2	14.1	20.2
行政サービスが良いため	1.8	1.3	2.0
経済的な問題のため	17.6	18.9	16.6
その他	3.2	2.6	4.0
無回答	0.6	0.4	0.8

問5で「できれば市内の他地域に移りたい」「できれば市外に移りたい」「すぐにでも移りたい」と回答された方にお伺いします。

問5-2 現在お住まいの地域に住み続けたくないと思う理由はなんですか。

「日常生活が不便なため」が73.5%で最も高くなっています。次いで「仕事や通学に不便なため」が40.2%、「福祉サービスが使いにくい」が20.5%で続いています。

(MA) n=117



【その他回答】

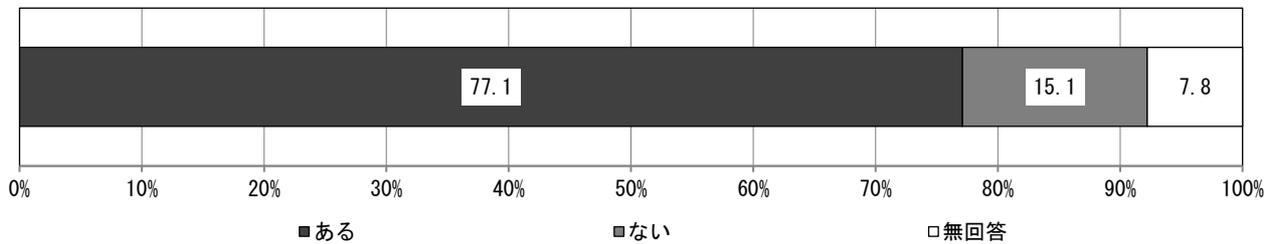
その他	類似回答数
車が乗れなくなったらとても不便	3
教育や店舗、娯楽等の選択範囲が広い	1
交通移動、病院、買い物など	1
高齢になるころは、車無しで生活できるエリアに移りたい	1

その他	類似回答数
子どもがいるのに病院がないから	1
子どもの習い事やその環境が他市と比べて選択肢がない	1
親を見送った後は田舎にしがらむ理由がない。自分の可能性に挑戦したい	1
税金などが高い	1
草の管理が大変。大雨が降ると道路溜りが溢れて自宅が浸水する	1
地域の役が多い、行事	1
田舎すぎる。飽きた	1
日当たりが悪い	1
病気のため	1

問6 近所の人と付き合いはありますか。(SA)

「ある」が77.1%を占めています。

(SA) n=663



<問6 × 年齢別クロス>

『10・20歳台』『30歳台』では「ない」の割合が高くなっています。

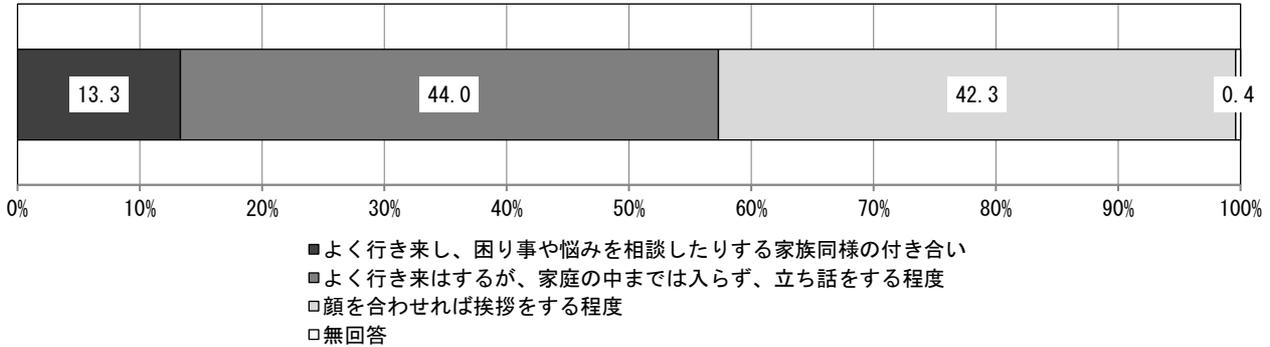
	全体 n=663	10・20歳台 n=31	30歳台 n=40	40歳台 n=92	50歳台 n=99	60歳台 n=154	70歳台 n=216	80歳以上 n=18
ある	77.1	64.5	47.5	73.9	77.8	82.5	80.6	83.3
ない	15.1	32.3	42.5	18.5	17.2	11.7	7.9	11.1
無回答	7.8	3.2	10.0	7.6	5.1	5.8	11.6	5.6

問6で「ある」と回答された方にお伺いします。

問6-1 どの程度の付き合いですか。

「よく行き来はするが、家庭の中までは入らず、立ち話をする程度」が 44.0%で最も高くなっています。次いで「顔を合わせれば挨拶をする程度」が 42.3%、「よく行き来し、困り事や悩みを相談したりする家族同様の付き合い」が 13.3%となっています。

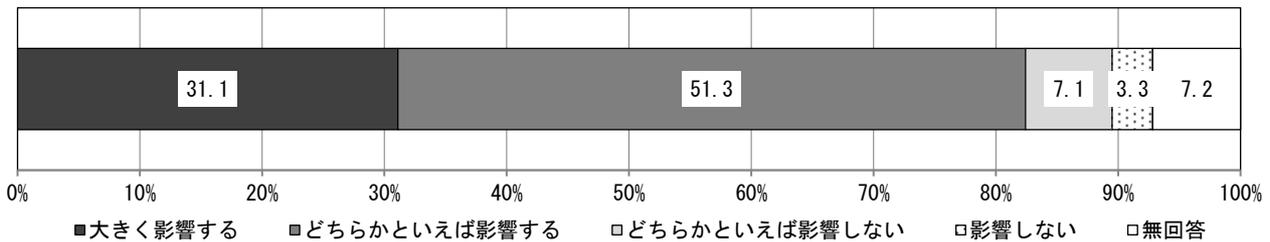
(SA) n=511



問7 ご近所付き合いは、地域の暮らしやすさに影響すると思いますか。

「どちらかといえば影響する」が 51.3%を占めています。

(SA) n=663



<問7 × 年齢別クロス>

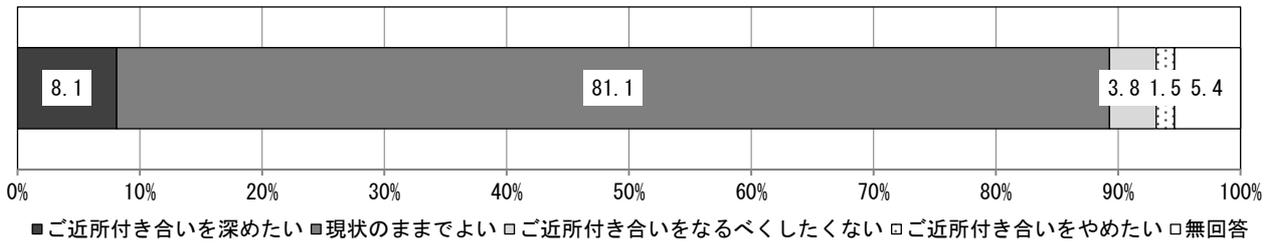
「大きく影響する」と「どちらかといえば影響する」を合わせた割合では、『10・20歳台』で高くなっています。

	全体 n=663	10・20歳台 n=31	30歳台 n=40	40歳台 n=92	50歳台 n=99	60歳台 n=154	70歳台 n=216	80歳以上 n=18
大きく影響する	31.1	16.1	27.5	30.4	25.3	33.8	36.1	11.1
どちらかといえば影響する	51.3	80.6	50.0	48.9	57.6	53.2	44.0	55.6
どちらかといえば影響しない	7.1	3.2	10.0	9.8	8.1	3.9	6.9	16.7
影響しない	3.3	-	2.5	5.4	5.1	2.6	2.8	-
無回答	7.2	-	10.0	5.4	4.0	6.5	10.2	16.7

問8 ご近所付き合いの関係を、今後どうしていきたいですか。

「現状のままでよい」が81.1%を占めています。

(SA) n=663



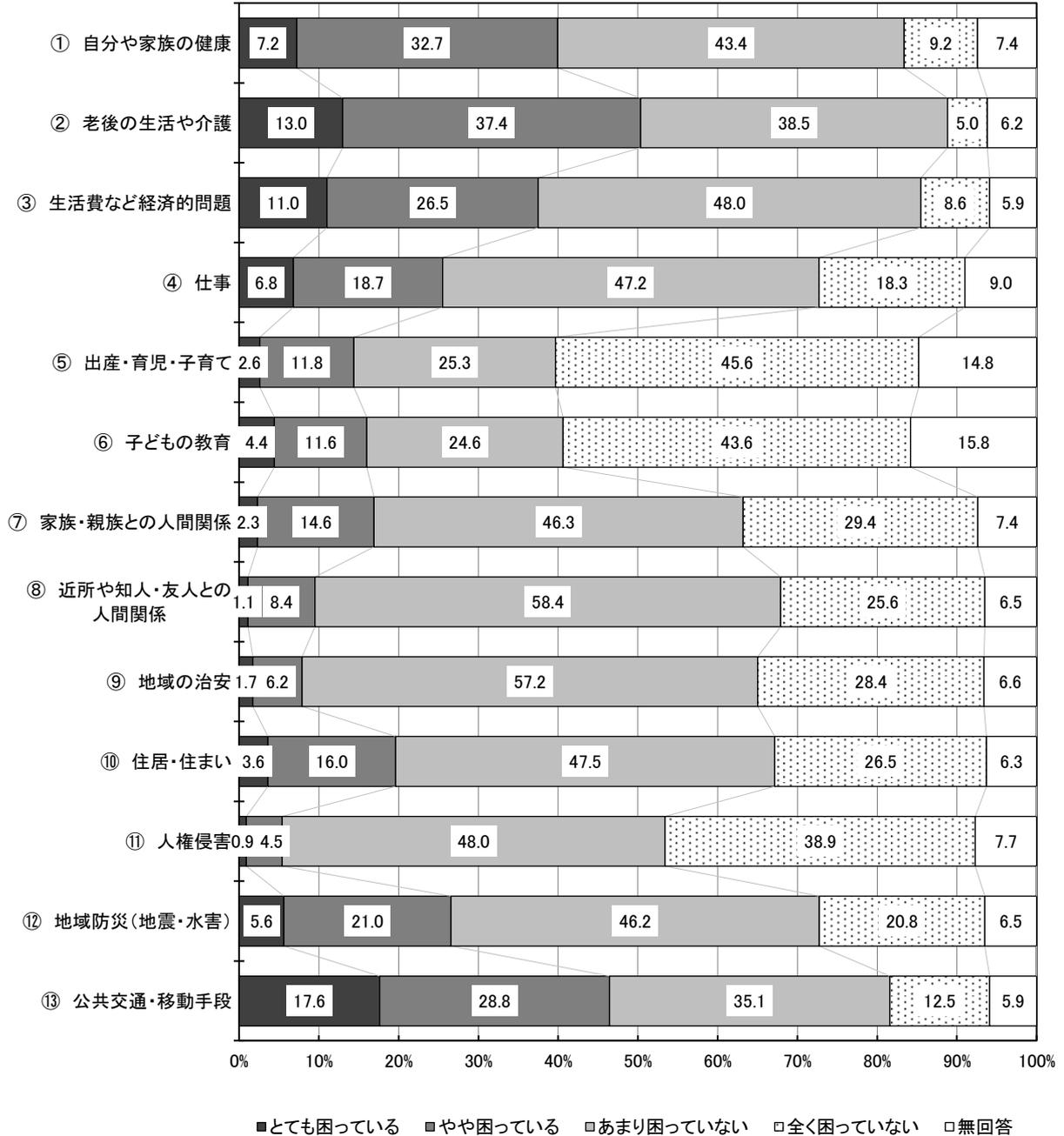
2 暮らしの困りごとについて

問9 あなたは、毎日の暮らしの中で、困りごとや不安がありますか。

「とても困っている」と「やや困っている」を合わせた割合では、『② 老後の生活や介護』『③ 公共交通・移動手段』『① 自分や家族の健康』の順に高くなっています。また、

「あまり困っていない」と「まったく困っていない」を合わせた割合では、『⑪ 人権侵害』『⑨ 地域の治安』『⑧ 近所や知人・友人との人間関係』の順に高くなっています

(各 SA) n=663



<問9①自分や家族の健康 × 年齢別クロス>

「とても困っている」と「やや困っている」を合わせた割合では、『80歳以上』で高くなっています。

	全体 n=663	10・20歳台 n=31	30歳台 n=40	40歳台 n=92	50歳台 n=99	60歳台 n=154	70歳台 n=216	80歳以上 n=18
とても困っている	7.2	9.7	-	4.3	10.1	7.8	6.9	16.7
やや困っている	32.7	25.8	25.0	23.9	31.3	41.6	32.9	44.4
あまり困っていない	43.4	32.3	55.0	57.6	44.4	38.3	40.7	33.3
全く困っていない	9.2	29.0	12.5	9.8	9.1	6.5	7.9	-
無回答	7.4	3.2	7.5	4.3	5.1	5.8	11.6	5.6

<問9①自分や家族の健康 × 地区別クロス>

「とても困っている」と「やや困っている」を合わせた割合では、『豊田前』で高くなっています。

	全体 n=663	大嶺 n=191	伊佐 n=87	豊田前 n=33	於福 n=43	厚保 n=53	美東 n=119	秋芳 n=121
とても困っている	7.2	7.3	4.6	15.2	7.0	7.5	5.9	8.3
やや困っている	32.7	30.4	36.8	36.4	41.9	28.3	31.9	30.6
あまり困っていない	43.4	44.5	40.2	36.4	25.6	49.1	47.9	46.3
全く困っていない	9.2	9.4	12.6	9.1	11.6	5.7	7.6	8.3
無回答	7.4	8.4	5.7	3.0	14.0	9.4	6.7	6.6

<問9②老後の生活や介護 × 年齢別クロス>

「とても困っている」と「やや困っている」を合わせた割合では、『40歳台』で高くなっています。

	全体 n=663	10・20歳台 n=31	30歳台 n=40	40歳台 n=92	50歳台 n=99	60歳台 n=154	70歳台 n=216	80歳以上 n=18
とても困っている	13.0	9.7	7.5	16.3	21.2	11.7	9.3	16.7
やや困っている	37.4	38.7	37.5	44.6	33.3	44.8	32.9	27.8
あまり困っていない	38.5	35.5	35.0	30.4	35.4	37.7	43.1	50.0
全く困っていない	5.0	12.9	12.5	5.4	7.1	1.9	3.7	-
無回答	6.2	3.2	7.5	3.3	3.0	3.9	11.1	5.6

<問9②老後の生活や介護 × 地区別クロス>

「とても困っている」と「やや困っている」を合わせた割合では、『豊田前』で高くなっています。

	全体 n=663	大嶺 n=191	伊佐 n=87	豊田前 n=33	於福 n=43	厚保 n=53	美東 n=119	秋芳 n=121
とても困っている	13.0	13.1	9.2	24.2	14.0	11.3	16.0	9.1
やや困っている	37.4	37.2	39.1	39.4	34.9	43.4	34.5	36.4
あまり困っていない	38.5	36.6	41.4	24.2	32.6	35.8	42.9	42.1
全く困っていない	5.0	6.8	6.9	6.1	4.7	3.8	1.7	5.0
無回答	6.2	6.3	3.4	6.1	14.0	5.7	5.0	7.4

<問9④仕事 × 年齢別クロス>

「とても困っている」と「やや困っている」を合わせた割合では、『30歳台』『50歳台』で高くなっています。

	全体 n=663	10・20歳台 n=31	30歳台 n=40	40歳台 n=92	50歳台 n=99	60歳台 n=154	70歳台 n=216	80歳以上 n=18
とても困っている	6.8	12.9	15.0	10.9	9.1	5.8	2.8	5.6
やや困っている	18.7	16.1	25.0	21.7	28.3	18.8	12.0	27.8
あまり困っていない	47.2	35.5	37.5	45.7	45.5	57.1	47.2	27.8
全く困っていない	18.3	32.3	12.5	16.3	15.2	14.3	20.8	27.8
無回答	9.0	3.2	10.0	5.4	2.0	3.9	17.1	11.1

<問9⑤出産・育児・子育て × 年齢別クロス>

「とても困っている」と「やや困っている」を合わせた割合では、『30歳台』『40歳台』で高くなっています。

	全体 n=663	10・20歳台 n=31	30歳台 n=40	40歳台 n=92	50歳台 n=99	60歳台 n=154	70歳台 n=216	80歳以上 n=18
とても困っている	2.6	-	10.0	2.2	3.0	1.9	2.3	-
やや困っている	11.8	22.6	15.0	28.3	14.1	9.7	4.2	5.6
あまり困っていない	25.3	29.0	40.0	33.7	27.3	28.6	17.1	11.1
全く困っていない	45.6	45.2	25.0	30.4	49.5	49.4	49.5	61.1
無回答	14.8	3.2	10.0	5.4	6.1	10.4	26.9	22.2

<問9⑥子どもの教育 × 年齢別クロス>

「とても困っている」と「やや困っている」を合わせた割合では、『30歳台』『40歳台』で高くなっています。

	全体 n=663	10・20歳台 n=31	30歳台 n=40	40歳台 n=92	50歳台 n=99	60歳台 n=154	70歳台 n=216	80歳以上 n=18
とても困っている	4.4	6.5	15.0	4.3	8.1	2.6	1.9	5.6
やや困っている	11.6	16.1	15.0	31.5	12.1	11.0	3.2	5.6
あまり困っていない	24.6	25.8	27.5	31.5	30.3	25.3	18.5	11.1
全く困っていない	43.6	48.4	32.5	27.2	43.4	48.7	47.2	55.6
無回答	15.8	3.2	10.0	5.4	6.1	12.3	29.2	22.2

<問9⑦家族・親族との人間関係 × 地区別クロス>

「とても困っている」と「やや困っている」を合わせた割合では、『豊田前』で高くなっています。

	全体 n=663	大嶺 n=191	伊佐 n=87	豊田前 n=33	於福 n=43	厚保 n=53	美東 n=119	秋芳 n=121
とても困っている	2.3	2.6	2.3	9.1	-	1.9	2.5	0.8
やや困っている	14.6	16.2	11.5	21.2	16.3	11.3	10.1	16.5
あまり困っていない	46.3	42.4	55.2	33.3	39.5	52.8	50.4	46.3
全く困っていない	29.4	31.4	24.1	33.3	27.9	30.2	30.3	27.3
無回答	7.4	7.3	6.9	3.0	16.3	3.8	6.7	9.1

<問9⑩住居・住まい × 年齢別クロス>

「とても困っている」と「やや困っている」を合わせた割合では、『50歳台』で高くなっています。

	全体 n=663	10・20歳台 n=31	30歳台 n=40	40歳台 n=92	50歳台 n=99	60歳台 n=154	70歳台 n=216	80歳以上 n=18
とても困っている	3.6	3.2	5.0	5.4	6.1	3.2	2.3	-
やや困っている	16.0	9.7	17.5	16.3	25.3	15.6	13.4	11.1
あまり困っていない	47.5	45.2	45.0	46.7	42.4	55.2	43.5	55.6
全く困っていない	26.5	38.7	25.0	28.3	23.2	21.4	30.1	22.2
無回答	6.3	3.2	7.5	3.3	3.0	4.5	10.6	11.1

<問9⑩住居・住まい × 地区別クロス>

「とても困っている」と「やや困っている」を合わせた割合では、『厚保』で高くなっています。

	全体 n=663	大嶺 n=191	伊佐 n=87	豊田前 n=33	於福 n=43	厚保 n=53	美東 n=119	秋芳 n=121
とても困っている	3.6	1.0	3.4	-	4.7	3.8	7.6	5.0
やや困っている	16.0	9.9	13.8	15.2	18.6	34.0	18.5	16.5
あまり困っていない	47.5	52.4	51.7	45.5	34.9	37.7	48.7	42.1
全く困っていない	26.5	29.8	27.6	36.4	25.6	17.0	21.0	28.9
無回答	6.3	6.8	3.4	3.0	16.3	7.5	4.2	7.4

<問9⑫地域防災（地震・水害） × 地区別クロス>

「とても困っている」と「やや困っている」を合わせた割合では、『厚保』で高くなっています。

	全体 n=663	大嶺 n=191	伊佐 n=87	豊田前 n=33	於福 n=43	厚保 n=53	美東 n=119	秋芳 n=121
とても困っている	5.6	4.7	5.7	6.1	2.3	24.5	5.0	0.8
やや困っている	21.0	14.7	19.5	21.2	32.6	32.1	18.5	23.1
あまり困っていない	46.2	48.7	47.1	33.3	41.9	28.3	55.5	47.9
全く困っていない	20.8	25.1	23.0	36.4	7.0	9.4	15.1	21.5
無回答	6.5	6.8	4.6	3.0	16.3	5.7	5.9	6.6

<問9⑬公共交通・移動手段 × 年齢別クロス>

「とても困っている」と「やや困っている」を合わせた割合では、『50歳台』で高くなっています。

	全体 n=663	10・20歳台 n=31	30歳台 n=40	40歳台 n=92	50歳台 n=99	60歳台 n=154	70歳台 n=216	80歳以上 n=18
とても困っている	17.6	32.3	15.0	16.3	32.3	13.6	12.0	22.2
やや困っている	28.8	32.3	35.0	33.7	24.2	32.5	25.9	11.1
あまり困っていない	35.1	25.8	22.5	32.6	26.3	41.6	38.9	50.0
全く困っていない	12.5	6.5	20.0	14.1	15.2	7.8	13.0	11.1
無回答	5.9	3.2	7.5	3.3	2.0	4.5	10.2	5.6

<問9 ⑬公共交通・移動手段 × 地区別クロス>

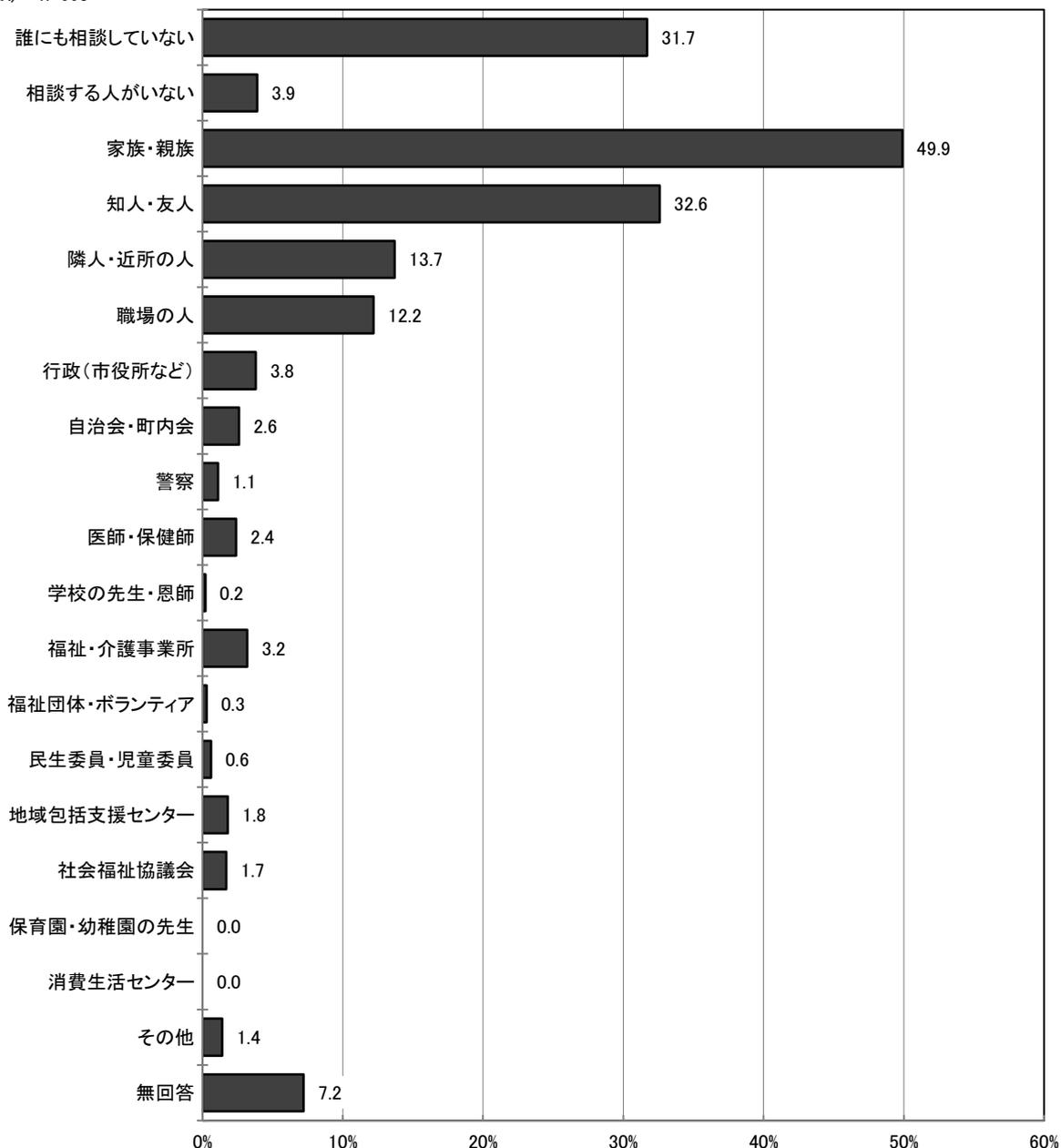
「とても困っている」と「やや困っている」を合わせた割合では、『秋芳』で高くなっています。

	全体 n=663	大嶺 n=191	伊佐 n=87	豊田前 n=33	於福 n=43	厚保 n=53	美東 n=119	秋芳 n=121
とても困っている	17.6	14.7	12.6	24.2	16.3	17.0	17.6	24.8
やや困っている	28.8	24.6	34.5	27.3	32.6	37.7	20.2	34.7
あまり困っていない	35.1	36.6	32.2	30.3	20.9	32.1	51.3	27.3
全く困っていない	12.5	17.8	14.9	15.2	16.3	7.5	6.7	7.4
無回答	5.9	6.3	5.7	3.0	14.0	5.7	4.2	5.8

問 10 現在、暮らしの困りごとや不安を、誰に相談していますか。

「家族・親族」が 49.9%で最も高くなっています。次いで「知人・友人」が 32.6%、「誰にも相談していない」が 31.7%で続いています。

(MA) n=663



【その他回答】

その他	類似回答数
SNS	1
ケアマネージャー	1
議員、ネットなど	1
現在相談する内容があまりない	1
困りごとや不安はない	1
地域互助組織	1
弁護士など	1

<問10 × 性別クロス>

『女性』は『男性』に比べて、「家族・親族」の割合が高くなっています。

	全体 n=663	男性 n=294	女性 n=342
誰にも相談していない	31.7	40.8	23.1
相談する人がいない	3.9	6.1	2.3
家族・親族	49.9	37.1	60.8
知人・友人	32.6	21.4	42.1
隣人・近所の人	13.7	13.6	13.5
職場の人	12.2	9.2	15.8
行政(市役所など)	3.8	6.1	1.8
自治会・町内会	2.6	4.4	1.2
警察	1.1	1.0	1.2
医師・保健師	2.4	2.0	2.6
学校の先生・恩師	0.2	0.3	-
福祉・介護事業所	3.2	2.4	3.8
福祉団体・ボランティア	0.3	0.3	0.3
民生委員・児童委員	0.6	0.7	0.6
地域包括支援センター	1.8	1.7	2.0
社会福祉協議会	1.7	2.0	1.5
保育園・幼稚園の先生	-	-	-
消費生活センター	-	-	-
その他	1.4	1.4	1.2
無回答	7.2	6.8	7.6

<問10 × 年齢別クロス>

『30歳台』『40歳台』は「職場の人」、『80歳以上』は「福祉・介護事業所」「民生委員・児童委員」の割合が高くなっています。

	全体 n=663	10・20歳台 n=31	30歳台 n=40	40歳台 n=92	50歳台 n=99	60歳台 n=154	70歳台 n=216	80歳以上 n=18
誰にも相談していない	31.7	29.0	27.5	39.1	25.3	25.3	38.4	22.2
相談する人がいない	3.9	3.2	2.5	5.4	6.1	4.5	2.3	5.6
家族・親族	49.9	51.6	57.5	48.9	58.6	52.6	43.1	33.3
知人・友人	32.6	38.7	30.0	30.4	37.4	35.7	28.2	33.3
隣人・近所の人	13.7	3.2	5.0	9.8	10.1	11.7	20.4	27.8
職場の人	12.2	19.4	22.5	22.8	17.2	13.0	2.3	5.6
行政(市役所など)	3.8	-	2.5	3.3	2.0	7.1	2.8	11.1
自治会・町内会	2.6	-	-	-	2.0	3.9	3.7	5.6
警察	1.1	-	-	1.1	1.0	0.6	1.4	5.6
医師・保健師	2.4	-	-	1.1	2.0	3.2	2.3	11.1
学校の先生・恩師	0.2	-	-	1.1	-	-	-	-
福祉・介護事業所	3.2	3.2	-	-	2.0	3.2	4.6	16.7
福祉団体・ボランティア	0.3	-	-	-	-	0.6	0.5	-
民生委員・児童委員	0.6	-	-	-	-	-	0.9	11.1
地域包括支援センター	1.8	-	-	-	2.0	3.2	1.9	5.6
社会福祉協議会	1.7	3.2	-	-	-	3.2	2.3	-
保育園・幼稚園の先生	-	-	-	-	-	-	-	-
消費生活センター	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	1.4	-	5.0	-	2.0	-	2.3	-
無回答	7.2	6.5	5.0	2.2	4.0	5.8	12.5	5.6

<問10 × 地区別クロス>

『豊田前』では「家族・親族」「行政」、『厚保』では「誰にも相談していない」の割合が高くなっています。

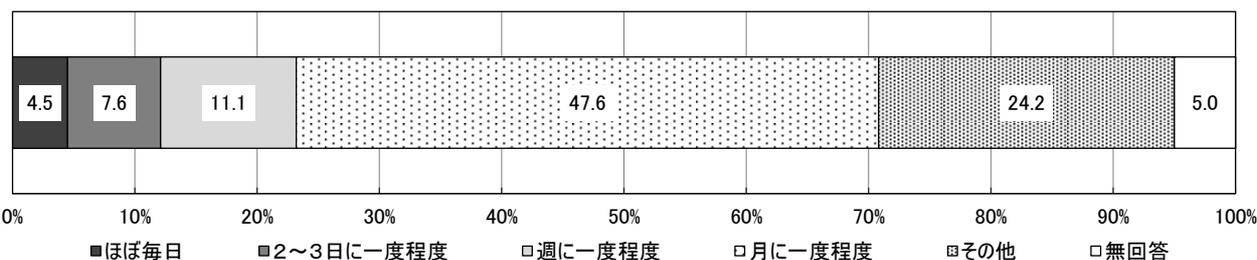
	全体 n=663	大嶺 n=191	伊佐 n=87	豊田前 n=33	於福 n=43	厚保 n=53	美東 n=119	秋芳 n=121
誰にも相談していない	31.7	33.0	24.1	18.2	34.9	45.3	34.5	31.4
相談する人がいない	3.9	2.6	2.3	6.1	4.7	1.9	5.0	5.0
家族・親族	49.9	52.9	57.5	60.6	39.5	37.7	47.1	47.9
知人・友人	32.6	34.0	32.2	33.3	34.9	20.8	35.3	31.4
隣人・近所の人	13.7	10.5	12.6	12.1	18.6	15.1	14.3	16.5
職場の人	12.2	12.6	12.6	15.2	4.7	13.2	15.1	8.3
行政(市役所など)	3.8	2.6	4.6	15.2	4.7	5.7	2.5	1.7
自治会・町内会	2.6	1.0	6.9	12.1	2.3	-	-	3.3
警察	1.1	1.0	2.3	-	-	1.9	1.7	-
医師・保健師	2.4	4.2	2.3	3.0	2.3	-	1.7	0.8
学校の先生・恩師	0.2	-	1.1	-	-	-	-	-
福祉・介護事業所	3.2	3.7	5.7	6.1	4.7	-	2.5	1.7
福祉団体・ボランティア	0.3	-	1.1	-	2.3	-	-	-
民生委員・児童委員	0.6	0.5	-	-	-	1.9	0.8	0.8
地域包括支援センター	1.8	1.6	3.4	-	2.3	-	2.5	1.7
社会福祉協議会	1.7	2.1	2.3	-	-	3.8	1.7	0.8
保育園・幼稚園の先生	-	-	-	-	-	-	-	-
消費生活センター	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	1.4	0.5	2.3	-	2.3	-	-	4.1
無回答	7.2	4.2	6.9	6.1	16.3	9.4	6.7	9.1

問10で「相談する人がいる」と回答された方にお伺いします。

問10-1 相談する回数はどれくらいですか。

「月に一度程度」が47.6%で最も高くなっています。次いで「週に一度程度」が11.1%が続いています。

(SA) n=397



【その他回答】

その他	類似回答数
困りごとや相談すること・不安がある時	25
年に数回(1回~5回)	19
その都度(なにかあった時)	15
必要な時・問題がある時	10
ほとんどしていない	4
時々	2
そのことを考える時	1

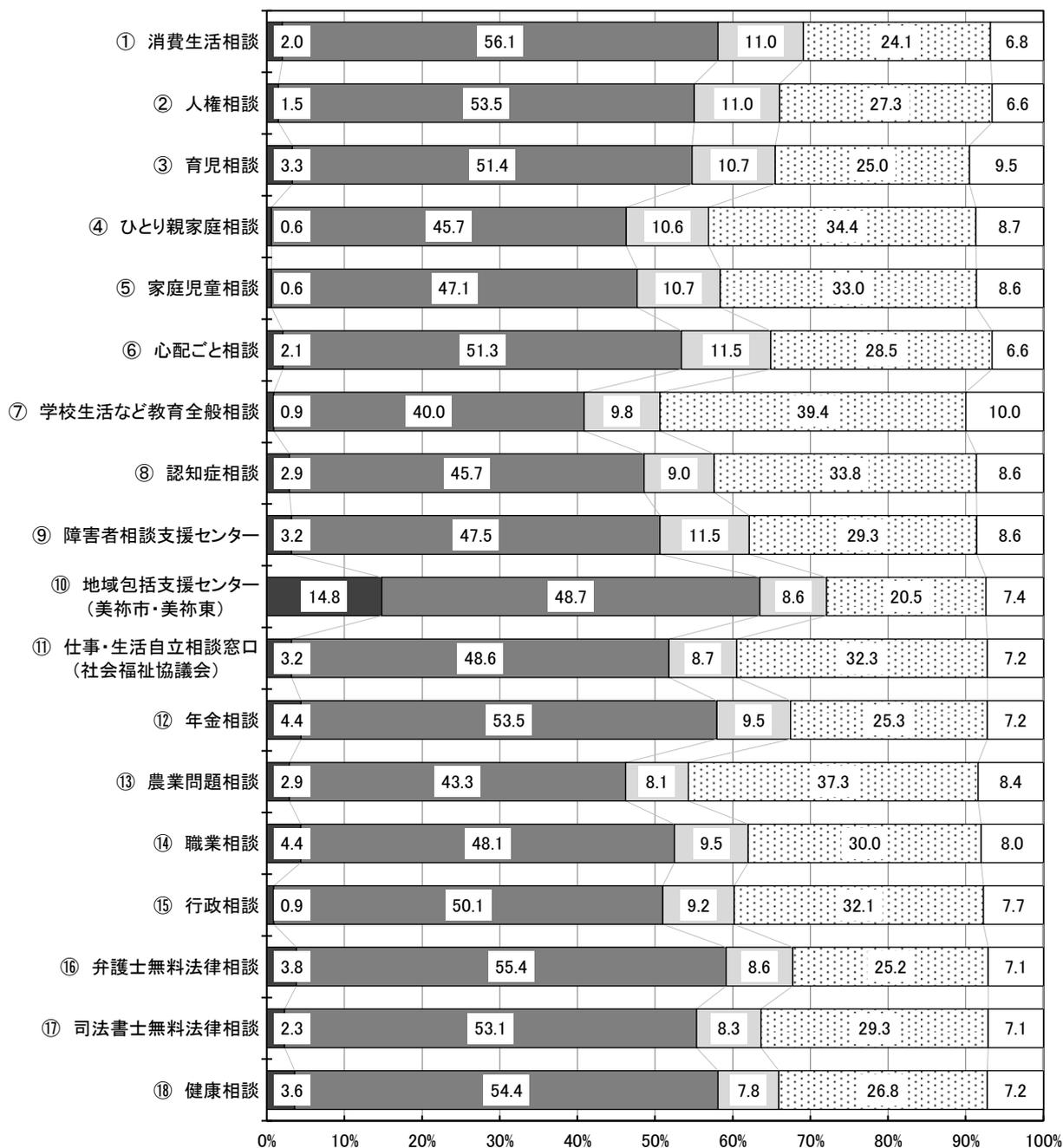
その他	類似回答数
何回とか気にしていない	1
家族は時々、友人には月1で会った時に話す程度	1
会えばするという感じ	1
月に2回程度	1
現在は相談していない	1
困りごとや不安はない	1
時々発作が出た時	1
相談するほど困る事ないのでそもそも頻度がそんなにない	1
相談する必要があるから	1
台風シーズン	1
特に決まっていない	1
年始に集まった時、みんなでそれぞれ話題を出して話し合う	1
盆、正月	1

問11 あなたは、広報「げんきみね。」などでお知らせしている下記の相談窓口をどの程度ご存じですか。

「知っているし利用したことがある」では、『⑩ 地域包括支援センター(美祢市・美祢東)』のみ1割を超えています。

「知らない」がでは、『⑦ 学校生活など教育全般相談』、『⑬ 農業問題相談』、『④ ひとり親家庭相談』の順に高くなっています。

(各 SA) n=663



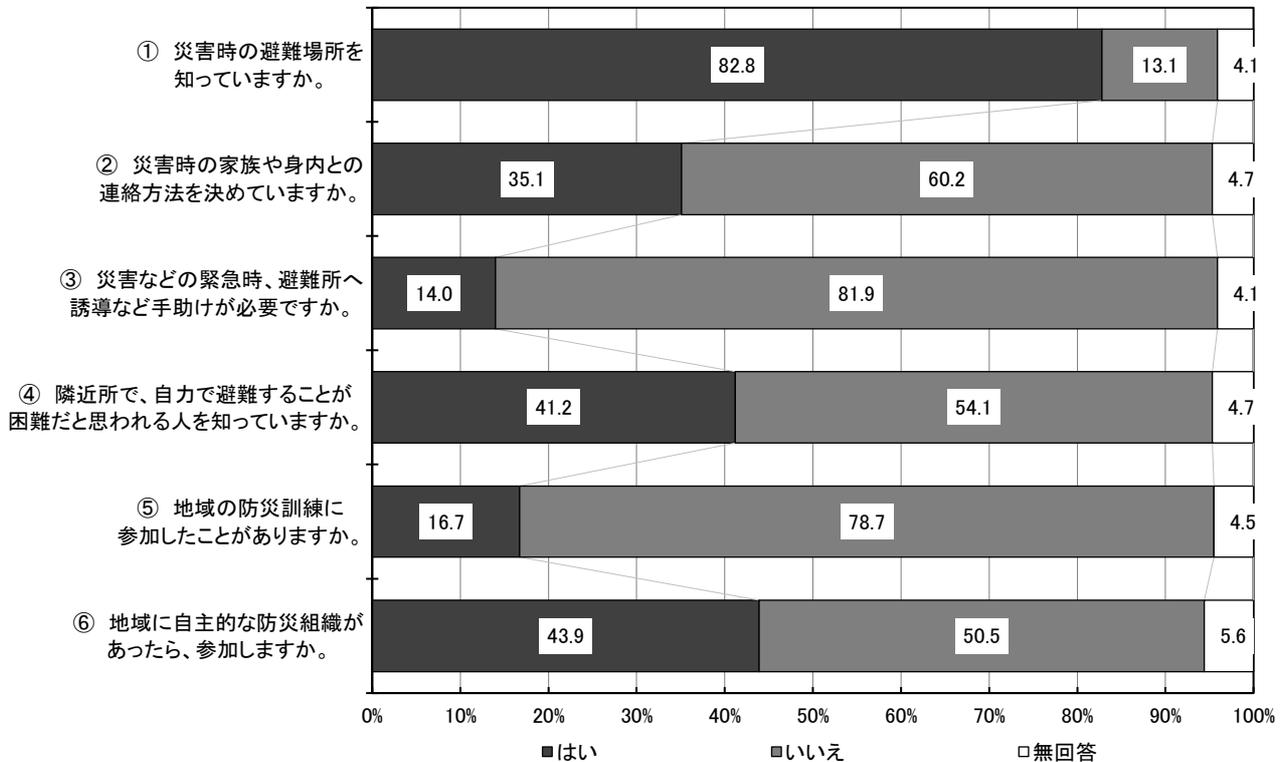
■知っているし利用したことがある ■知っているが利用したことはない □知っているが利用したいと思わない □知らない □無回答

3 災害時の助け合いについて

問 12 防災に対する取組や緊急時の対応についてお答えください。

- 『① 災害時の避難場所を知っていますか。』では8割以上の方が「はい」と回答しています。
 『② 災害時の家族や身内との連絡方法を決めていますか。』では約6割の方が「いいえ」と回答しています。
 『③ 災害などの緊急時、避難所へ誘導など手助けが必要ですか。』では 14.0%の方が「はい」と回答しています。
 『④ 隣近所で、自力で避難することが困難と思われる人を知っていますか。』では約4割の方が「はい」と回答しています。
 『⑤ 地域の防災訓練に参加したことがありますか。』では約8割の方が「いいえ」と回答しています。
 『⑥ 地域に自主的な防災組織があったら、参加しますか。』では約4割の方が「はい」と回答しています。

(各 SA) n=663



<問12②災害時の家族や身内との連絡方法を決めていますか × 地区別クロス>

『豊田前』では「いいえ」の割合が高くなっています。

	全体 n=663	大嶺 n=191	伊佐 n=87	豊田前 n=33	於福 n=43	厚保 n=53	美東 n=119	秋芳 n=121
はい	35.1	36.6	37.9	24.2	27.9	32.1	35.3	38.8
いいえ	60.2	60.7	56.3	72.7	62.8	64.2	58.8	56.2
無回答	4.7	2.6	5.7	3.0	9.3	3.8	5.9	5.0

<問12③災害などの緊急時、避難所へ誘導など手助けが必要ですか × 地区別クロス>

『於福』では「はい」の割合が高くなっています。

	全体 n=663	大嶺 n=191	伊佐 n=87	豊田前 n=33	於福 n=43	厚保 n=53	美東 n=119	秋芳 n=121
はい	14.0	14.1	11.5	15.2	32.6	7.5	10.9	13.2
いいえ	81.9	82.7	83.9	84.8	65.1	86.8	84.0	81.8
無回答	4.1	3.1	4.6	-	2.3	5.7	5.0	5.0

<問12⑤地域の防災訓練に参加したことがありますか × 地区別クロス>

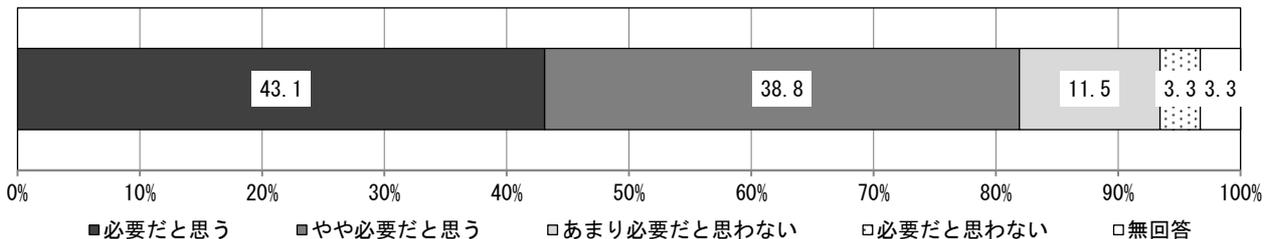
『豊田前』では「いいえ」の割合が高くなっています。

	全体 n=663	大嶺 n=191	伊佐 n=87	豊田前 n=33	於福 n=43	厚保 n=53	美東 n=119	秋芳 n=121
はい	16.7	13.1	20.7	6.1	16.3	17.0	15.1	24.8
いいえ	78.7	83.8	73.6	93.9	74.4	79.2	79.8	70.2
無回答	4.5	3.1	5.7	-	9.3	3.8	5.0	5.0

問13 大規模災害の備えとして、地域で必要最低限の個人情報(氏名、住所、電話番号、支援が必要な内容等)を地域で管理・共有することについて、どう思いますか。(SA)

「必要だと思う」が43.1%で最も高くなっています。次いで「やや必要だと思う」が38.8%、「あまり必要だと思わない」が11.5%が続いています。

(SA) n=663

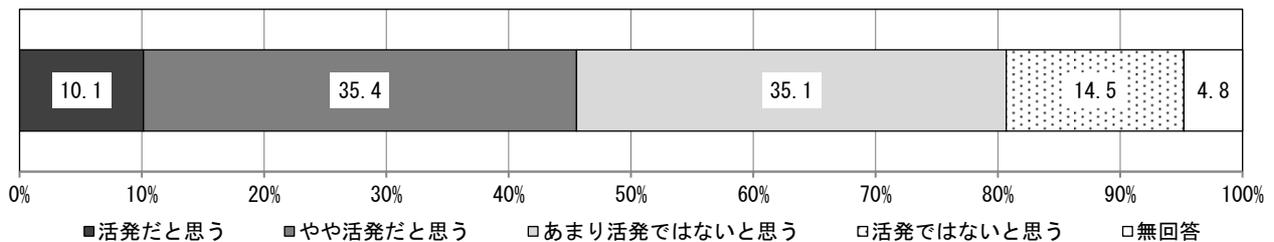


4 地域活動について

問 14 あなたが住んでいる地域では、町内会・自治会などの地域社会の行事や活動が活発だと思いませんか。

「やや活発だと思う」が 35.4%で最も高く、次いで「あまり活発ではないと思う」が 35.1%、「活発ではないと思う」が 14.5%で続いています。

(SA) n=663



<問14 × 年齢別クロス>

「活発ではないと思う」と「あまり活発ではないと思う」を合わせた割合では、『80歳以上』で高くなっています。

	全体 n=663	10・20歳台 n=31	30歳台 n=40	40歳台 n=92	50歳台 n=99	60歳台 n=154	70歳台 n=216	80歳以上 n=18
活発だと思う	10.1	6.5	10.0	16.3	12.1	7.1	8.8	5.6
やや活発だと思う	35.4	38.7	27.5	28.3	31.3	40.9	38.9	27.8
あまり活発ではないと思う	35.1	35.5	35.0	38.0	32.3	35.1	36.1	38.9
活発ではないと思う	14.5	19.4	22.5	13.0	20.2	11.7	11.1	22.2
無回答	4.8	-	5.0	4.3	4.0	5.2	5.1	5.6

<問14 × 地区別クロス>

「活発だと思う」と「やや活発だと思う」を合わせた割合では、『厚保』『美東』で高くなっています。

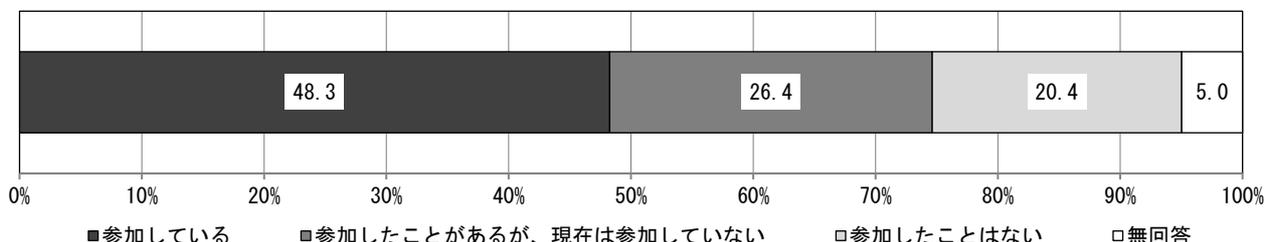
「活発ではないと思う」と「あまり活発ではないと思う」を合わせた割合では、『大嶺』で高くなっています。

	全体 n=663	大嶺 n=191	伊佐 n=87	豊田前 n=33	於福 n=43	厚保 n=53	美東 n=119	秋芳 n=121
活発だと思う	10.1	7.3	16.1	12.1	11.6	11.3	10.1	7.4
やや活発だと思う	35.4	25.1	31.0	36.4	37.2	47.2	51.3	33.9
あまり活発ではないと思う	35.1	39.3	33.3	30.3	30.2	30.2	30.3	41.3
活発ではないと思う	14.5	25.1	13.8	9.1	14.0	11.3	5.0	10.7
無回答	4.8	3.1	5.7	12.1	7.0	-	3.4	6.6

問15 あなたは、町内会・自治会などの地域社会の行事や活動に参加していますか。

「参加している」が48.3%で最も高くなっています。次いで「参加したことがあるが、現在は参加していない」が26.4%、「参加したことはない」が20.4%となっています。

(SA) n=663



<問15 × 年齢別クロス>

『10・20歳台』『30歳台』で「参加したことはない」の割合が高くなっています。

	全体 n=663	10・20歳台 n=31	30歳台 n=40	40歳台 n=92	50歳台 n=99	60歳台 n=154	70歳台 n=216	80歳以上 n=18
参加している	48.3	9.7	25.0	46.7	53.5	50.6	53.7	55.6
参加したことがあるが、現在は参加していない	26.4	32.3	25.0	19.6	29.3	27.9	28.2	16.7
参加したことはない	20.4	54.8	47.5	29.3	14.1	13.6	13.4	22.2
無回答	5.0	3.2	2.5	4.3	3.0	7.8	4.6	5.6

<問15 × 地区別クロス>

『厚保』では「参加している」の割合が高くなっています。

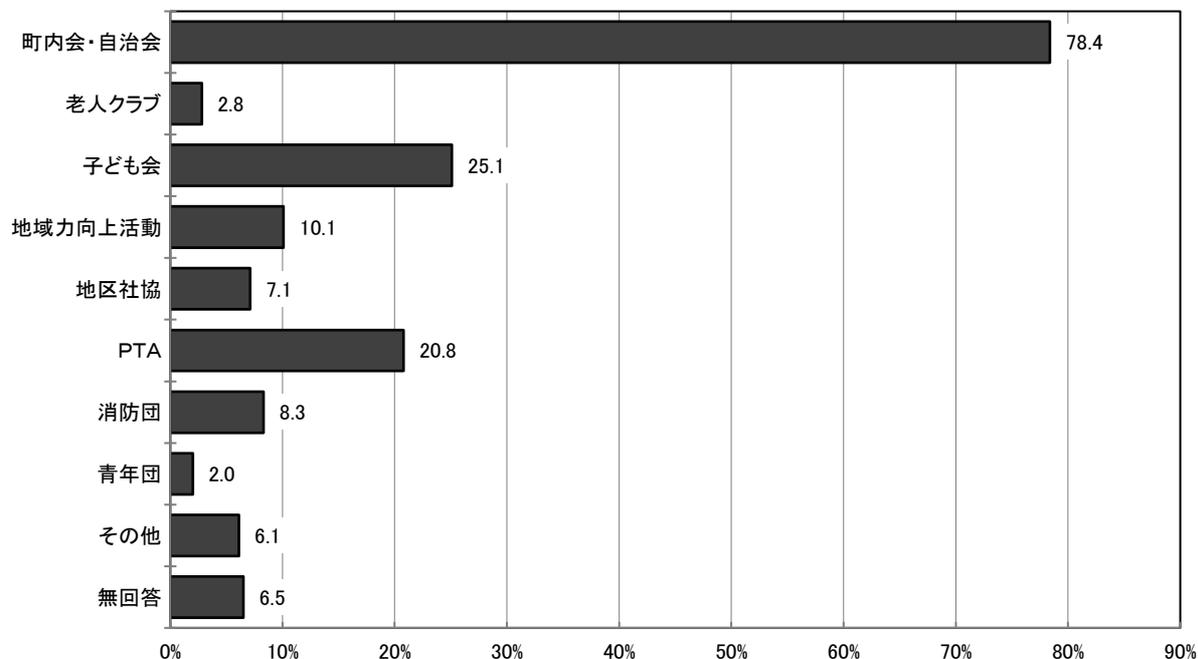
	全体 n=663	大嶺 n=191	伊佐 n=87	豊田前 n=33	於福 n=43	厚保 n=53	美東 n=119	秋芳 n=121
参加している	48.3	43.5	51.7	48.5	48.8	62.3	47.1	47.1
参加したことがあるが、現在は参加していない	26.4	27.7	27.6	15.2	25.6	24.5	26.9	28.9
参加したことはない	20.4	25.1	16.1	24.2	18.6	13.2	19.3	19.0
無回答	5.0	3.7	4.6	12.1	7.0	-	6.7	5.0

問 15 で「参加している」「参加したことがあるが、現在は参加していない」と回答された方にお伺いします。

問 15-1 参加している（していた）活動は何ですか。

「町内会・自治会」が 78.4% で最も高くなっています。次いで「子ども会」が 25.1%、「PTA」が 20.8% で続いています。

(MA) n=495



【その他回答】

その他	類似回答数
公民館の活動、行事	3
地域のサロン	3
婦人会	3
ボランティア活動	2
交通安全協会	2
市民総社会参加活動	2
JA ノーサイ森林	1
ウォーキング会	1
お宮関係(おひまち)	1
お祭り	1
スポーツ大会	1
花壇の掃除	1
学童保育	1
環境推進協議会	1
高齢化が進み、自治会制度のあり方を見直す必要が急務と考える。	1
小中学校の支援	1
食推	1
地域団体	1
地域包括支援センターのボランティア	1
地区振興会	1
駐車場、水神公園清掃	1
任意の研究会	1

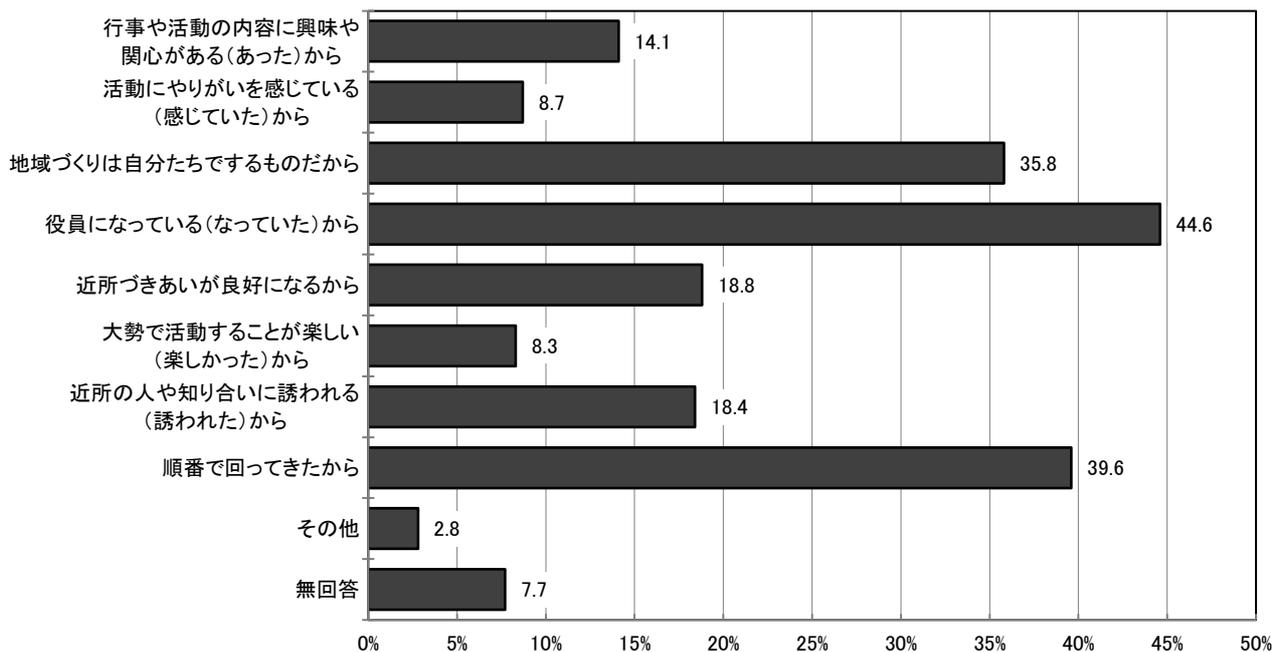
その他	類似回答数
八幡宮	1

問 15 で「参加している」「参加したことがあるが、現在は参加していない」と回答された方にお伺いします。

問 15-2 参加している（していた）主な理由は何ですか。

「役員になっている(なっていた)から」が 44.6%で最も高くなっています。次いで「順番で回ってきたから」が 39.6%、「地域づくりは自分たちですものだから」が 35.8%で続いています。

(MA) n=495



【その他回答】

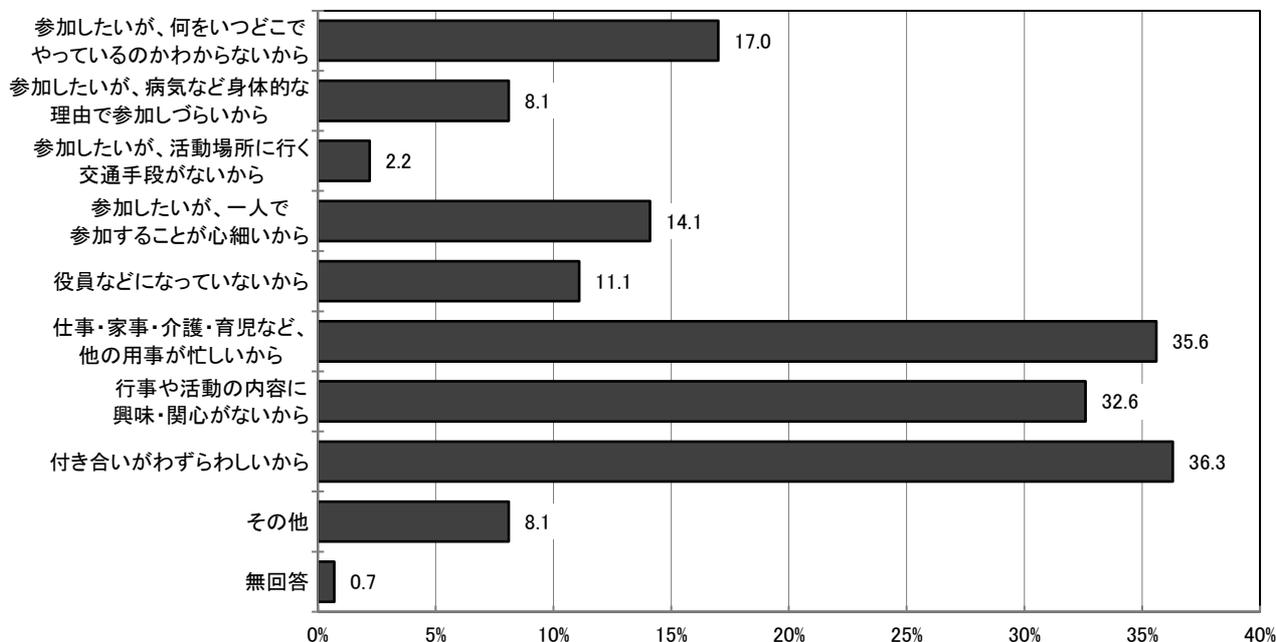
その他	類似回答数
引き受ける人がいないから仕方なく	1
近所づきあいをしないといけないから	1
向学のため	1
行きたくないが順番で回ってくるし、人目も気になるから	1
子どもの頃なので、理由などは覚えてない	1
子育てがあったから	1
社協のボランティアの会に入会しているから	1
出欠の回覧が回ってくるから	1
親と一緒に	1
地域での活動はモチベーションが上がる	1
地域のことだから	1
地域の発展に貢献したいから。地域の役に立ちたいから	1

問 15 で「参加したことはない」と回答された方にお伺いします。

問 15-3 参加していない理由は何ですか。

「付き合いがわずらわしいから」が 36.3%で最も高くなっています。次いで「仕事・家事・介護・育児など、他の用事が忙しいから」が 35.6%、「行事や活動の内容に興味・関心がないから」が 32.6%で続いています。

(MA) n=135



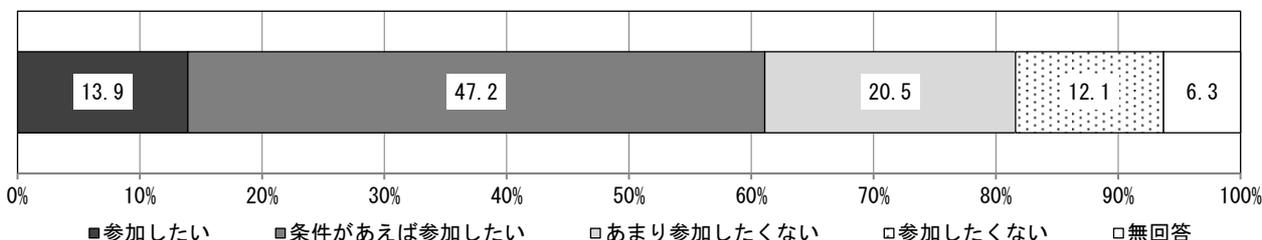
【その他回答】

その他	類似回答数
越してきたばかり	1
交代勤務のため、時間が合わない	1
仕事で都合が合わない	1
自治会に建物が加入していない	1
親が参加しているから	1
人の噂話が好きな人が居て、何を言われるかわかったもんじゃないから	1
町内会の活動がない	1
内容がない。目的がないので(目的を持つこと)	1
年に一度の総会だけ主人が出席しているため	1

問16 今後、町内会・自治会などの地域活動に参加したいと思いますか。

「条件があれば参加したい」が47.2%で最も高くなっています。次いで「あまり参加したくない」が20.5%、「参加したい」が13.9%が続いています。

(SA) n=663



<問16 × 年齢別クロス>

「参加したくない」と「あまり参加したくない」を合わせた割合では、『10・20歳台』で高くなっています。

	全体 n=663	10・20歳台 n=31	30歳台 n=40	40歳台 n=92	50歳台 n=99	60歳台 n=154	70歳台 n=216	80歳以上 n=18
参加したい	13.9	-	10.0	14.1	9.1	12.3	19.4	16.7
条件があれば参加したい	47.2	48.4	37.5	51.1	38.4	53.9	47.2	38.9
あまり参加したくない	20.5	32.3	20.0	18.5	30.3	17.5	16.7	27.8
参加したくない	12.1	19.4	30.0	10.9	18.2	8.4	8.3	11.1
無回答	6.3	-	2.5	5.4	4.0	7.8	8.3	5.6

<問15 × 地区別クロス>

『厚保』では「参加したい」の割合が高くなっています。

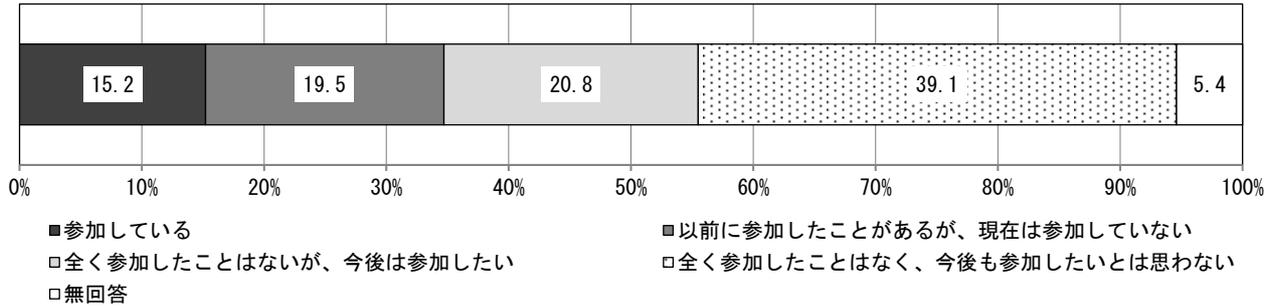
	全体 n=663	大嶺 n=191	伊佐 n=87	豊田前 n=33	於福 n=43	厚保 n=53	美東 n=119	秋芳 n=121
参加したい	13.9	14.7	10.3	12.1	7.0	24.5	9.2	16.5
条件があれば参加した	47.2	46.6	54.0	48.5	34.9	37.7	50.4	48.8
あまり参加したくない	20.5	16.8	21.8	18.2	27.9	20.8	25.2	19.0
参加したくない	12.1	16.8	9.2	12.1	18.6	11.3	9.2	8.3
無回答	6.3	5.2	4.6	9.1	11.6	5.7	5.9	7.4

5 ボランティア活動について

問17 あなたは、ボランティア活動やNPO活動を行ったことがありますか。

「全く参加したことはなく、今後も参加したいとは思わない」が 39.1%で最も高くなっています。次いで「全く参加したことはないが、今後は参加したい」が 20.8%、「以前に参加したことがあるが、現在は参加していない」が 19.5%で続いています。

(SA) n=663



<問17 × 年齢別クロス>

『30歳台』で「全く参加したことはなく、今後は参加したいとは思わない」の割合が高くなっています。

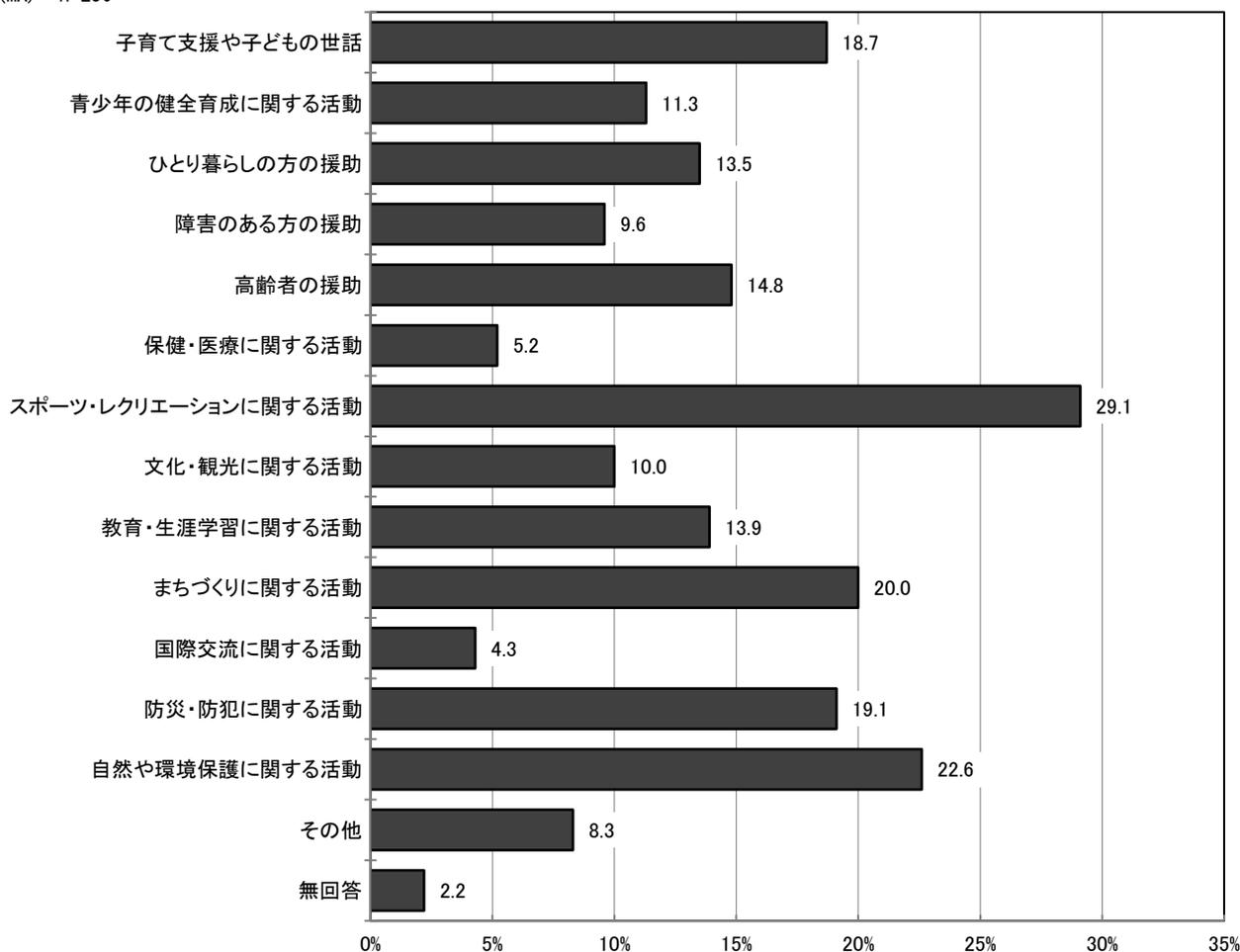
	全体 n=663	10・20歳台 n=31	30歳台 n=40	40歳台 n=92	50歳台 n=99	60歳台 n=154	70歳台 n=216	80歳以上 n=18
参加している	15.2	6.5	12.5	15.2	15.2	16.9	16.2	16.7
以前に参加したことがあるが、現在は参加していない	19.5	25.8	15.0	20.7	19.2	20.8	19.0	22.2
全く参加したことはないが、今後は参加したい	20.8	22.6	15.0	22.8	22.2	24.7	15.3	16.7
全く参加したことはなく、今後も参加したいとは思わない	39.1	45.2	55.0	39.1	38.4	31.2	42.6	33.3
無回答	5.4	-	2.5	2.2	5.1	6.5	6.9	11.1

問 17 で「参加している」「以前に参加したことがあるが、現在は参加していない」と回答された方にお伺いします。

問 17-1 どのような活動を行いましたか。

「スポーツ・レクリエーションに関する活動」が 29.1%で最も高くなっています。次いで「自然や環境保護に関する活動」が 22.6%、「まちづくりに関する活動」が 20.0%で続いています。

(MA) n=230



【その他回答】

その他	類似回答数
災害(復旧)ボランティア	4
清掃活動	3
ゴミ拾い	1
ジオパークの研修	1
犬猫保護活動(他市)	1
阪神大震災の時のボランティア	1
施設など慰問	1
社協のボランティアの会で、自分で通院不可能、困難な人の送り迎え	1
食生活改善にかんするのボランティア	1
食生活推進協議会	1
人権	1
地域包括支援センターのお元気シニア応援隊、メイト、Team Happy	1

その他	類似回答数
認知症キャラバンメイト	1
募金	1

<問17-1 × 性別クロス>

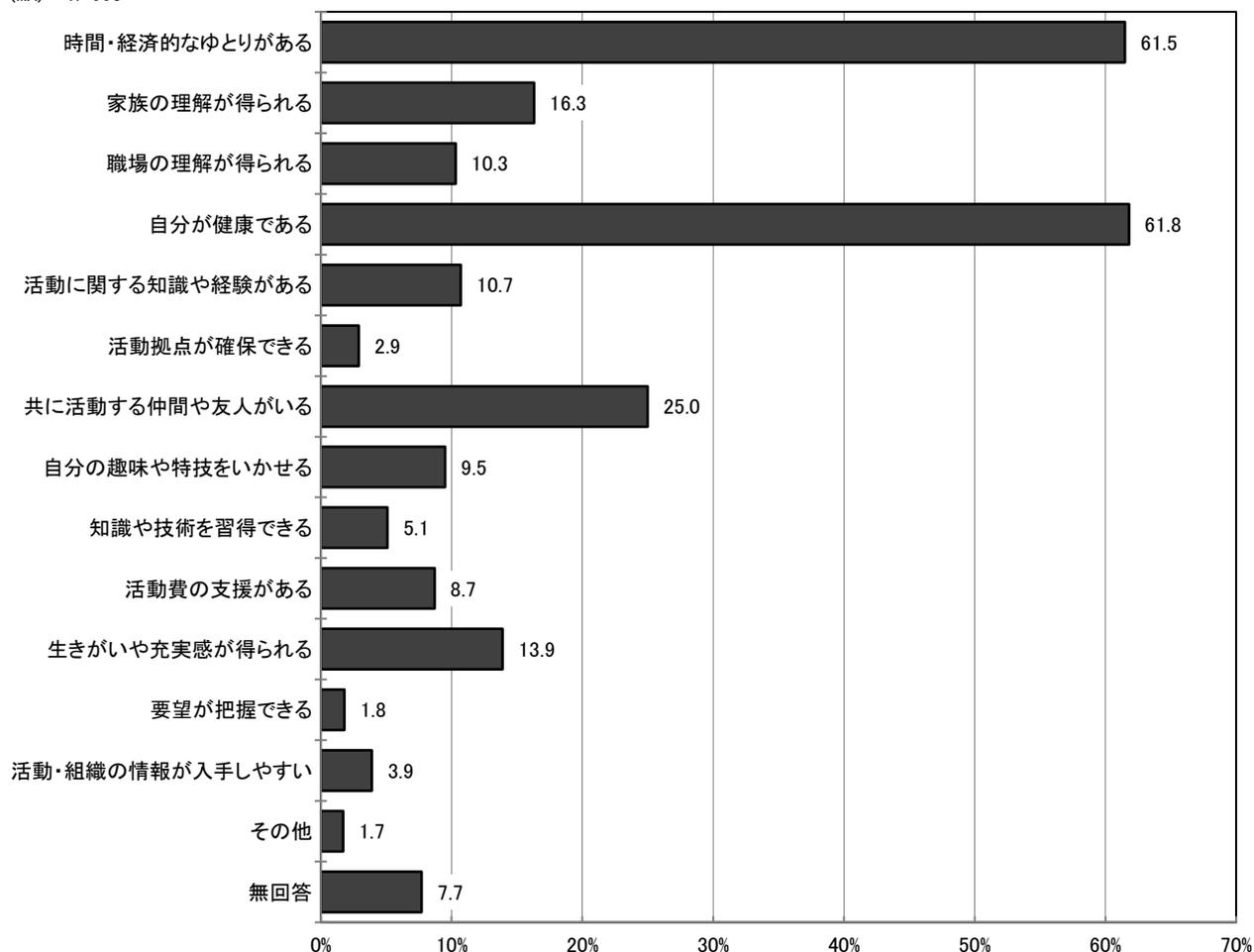
『男性』は『女性』に比べて、「防災・防犯に関する活動」の割合が高くなっています。

	全体 n=230	男性 n=101	女性 n=124
子育て支援や子どもの世話	18.7	13.9	23.4
青少年の健全育成に関する活動	11.3	17.8	5.6
ひとり暮らしの方の援助	13.5	11.9	15.3
障害のある方の援助	9.6	7.9	11.3
高齢者の援助	14.8	13.9	16.1
保健・医療に関する活動	5.2	2.0	8.1
スポーツ・レクリエーションに関する活動	29.1	33.7	23.4
文化・観光に関する活動	10.0	14.9	5.6
教育・生涯学習に関する活動	13.9	14.9	13.7
まちづくりに関する活動	20.0	25.7	16.1
国際交流に関する活動	4.3	5.0	4.0
防災・防犯に関する活動	19.1	34.7	5.6
自然や環境保護に関する活動	22.6	29.7	16.9
その他	8.3	5.9	10.5
無回答	2.2	3.0	1.6

問 18 ボランティア活動を続けたり、新たに活動に参加したりするために必要な条件はどのようなことだと思いますか。

「自分が健康である」が61.8%で最も高くなっています。次いで「時間・経済的なゆとりがある」が61.5%、「共に活動する仲間や友人がいる」が25.0%で続いています。

(MA) n=663



【その他回答】

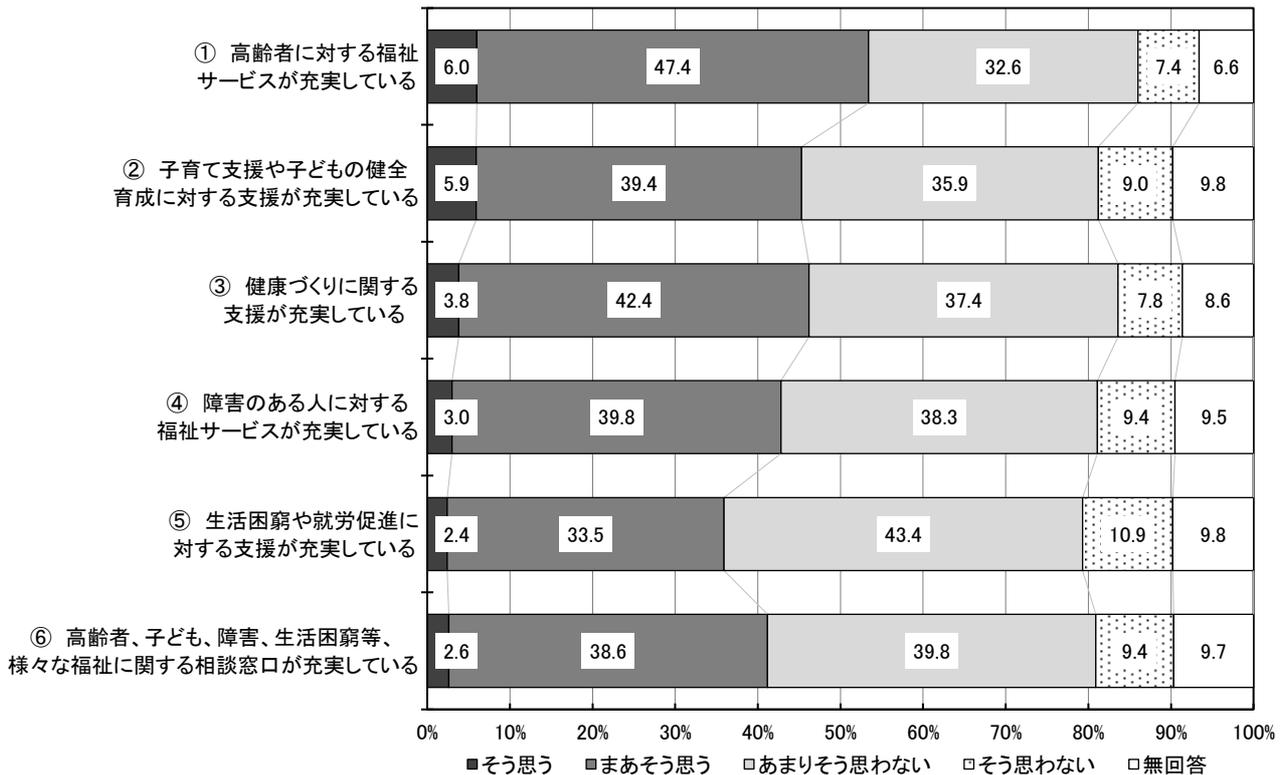
その他	類似回答数
ボランティアに頼りすぎない	1
機会	1
足、つまり車があること	1

6 福祉のサービスについて

問 19 美祢市が行っているサービスに対して、どのように感じますか。

「そう思う」と「まあそう思う」を合わせた割合では、『① 高齢者に対する福祉サービスが充実している』『② 子育て支援や子どもの健全育成に対する支援が充実している』『③ 健康づくりに関する支援が充実している』の順に高くなっています。

(各 SA) n=663



<問19①高齢者に対する福祉サービスが充実している × 年齢別クロス>

「そう思う」と「まあそう思う」を合わせた割合では、『10・20歳台』で高くなっています。

「そう思わない」と「あまりそう思わない」を合わせた割合では、『50歳台』で高くなっています。

	全体 n=663	10・20歳台 n=31	30歳台 n=40	40歳台 n=92	50歳台 n=99	60歳台 n=154	70歳台 n=216	80歳以上 n=18
そう思う	6.0	16.1	2.5	5.4	2.0	3.9	8.3	11.1
まあそう思う	47.4	51.6	42.5	47.8	40.4	50.6	49.1	50.0
あまりそう思わない	32.6	25.8	27.5	35.9	41.4	33.1	27.3	38.9
そう思わない	7.4	6.5	12.5	7.6	10.1	9.1	5.1	-
無回答	6.6	-	15.0	3.3	6.1	3.2	10.2	-

<問19②子育て支援や子どもの健全育成に対する支援が充実している × 年齢別クロス>

「そう思う」と「まあそう思う」を合わせた割合では、『10・20歳台』で高くなっています。

「そう思わない」と「あまりそう思わない」を合わせた割合では、『30歳台』で高くなっています。

	全体 n=663	10・20歳台 n=31	30歳台 n=40	40歳台 n=92	50歳台 n=99	60歳台 n=154	70歳台 n=216	80歳以上 n=18
そう思う	5.9	12.9	-	6.5	2.0	3.2	9.7	-
まあそう思う	39.4	45.2	30.0	45.7	39.4	38.3	40.7	33.3
あまりそう思わない	35.9	35.5	37.5	33.7	40.4	42.9	28.2	50.0
そう思わない	9.0	6.5	25.0	10.9	11.1	11.0	4.2	-
無回答	9.8	-	7.5	3.3	7.1	4.5	17.1	16.7

<問19③健康づくりに関する支援が充実している × 地区別クロス>

「そう思わない」と「あまりそう思わない」を合わせた割合では、『豊田前』で高くなっています。

	全体 n=663	大嶺 n=191	伊佐 n=87	豊田前 n=33	於福 n=43	厚保 n=53	美東 n=119	秋芳 n=121
そう思う	3.8	3.7	3.4	6.1	-	9.4	1.7	5.0
まあそう思う	42.4	45.0	44.8	30.3	46.5	35.8	45.4	41.3
あまりそう思わない	37.4	32.5	40.2	48.5	25.6	35.8	37.0	43.8
そう思わない	7.8	11.5	3.4	9.1	14.0	9.4	6.7	3.3
無回答	8.6	7.3	8.0	6.1	14.0	9.4	9.2	6.6

<問19④障害のある人に対する福祉サービスが充実している × 地区別クロス>

「そう思わない」と「あまりそう思わない」を合わせた割合では、『豊田前』で高くなっています。

	全体 n=663	大嶺 n=191	伊佐 n=87	豊田前 n=33	於福 n=43	厚保 n=53	美東 n=119	秋芳 n=121
そう思う	3.0	4.7	3.4	-	-	9.4	0.8	1.7
まあそう思う	39.8	40.8	41.4	30.3	41.9	37.7	40.3	42.1
あまりそう思わない	38.3	33.5	36.8	51.5	32.6	34.0	42.9	42.1
そう思わない	9.4	12.6	8.0	9.1	11.6	7.5	8.4	5.8
無回答	9.5	8.4	10.3	9.1	14.0	11.3	7.6	8.3

<問19⑥高齢者、子ども、障害、生活困窮等、様々な福祉に関する相談窓口が充実している × 地区別クロス>

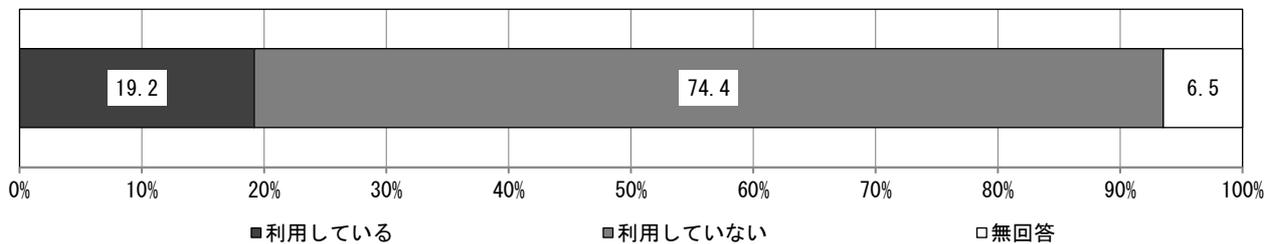
「そう思わない」と「あまりそう思わない」を合わせた割合では、『豊田前』で高くなっています。

	全体 n=663	大嶺 n=191	伊佐 n=87	豊田前 n=33	於福 n=43	厚保 n=53	美東 n=119	秋芳 n=121
そう思う	2.6	2.6	4.6	3.0	2.3	5.7	0.8	1.7
まあそう思う	38.6	41.4	36.8	27.3	37.2	34.0	42.9	38.8
あまりそう思わない	39.8	36.1	41.4	48.5	34.9	39.6	39.5	43.8
そう思わない	9.4	10.5	8.0	12.1	11.6	9.4	8.4	7.4
無回答	9.7	9.4	9.2	9.1	14.0	11.3	8.4	8.3

問 20 あなたは、福祉のサービスに関する情報を利用していますか。

「利用していない」が 74.4%を占めています。

(SA) n=663



<問20 × 年齢別クロス>

『10・20 歳台』で「利用していない」の割合が高くなっています。

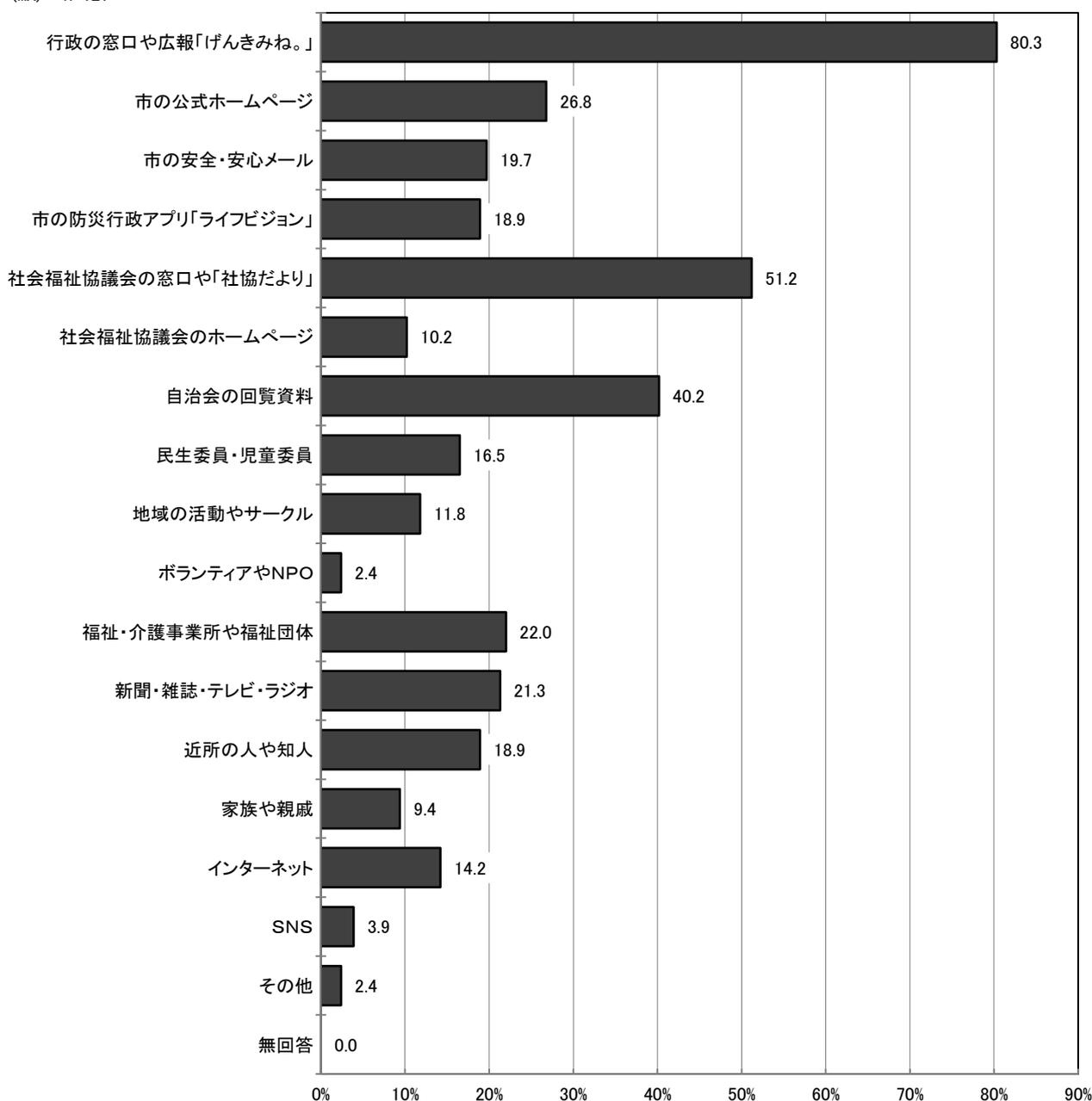
	全体 n=663	10・20歳台 n=31	30歳台 n=40	40歳台 n=92	50歳台 n=99	60歳台 n=154	70歳台 n=216	80歳以上 n=18
利用している	19.2	3.2	10.0	12.0	23.2	24.0	20.8	22.2
利用していない	74.4	93.5	80.0	81.5	73.7	70.8	69.9	77.8
無回答	6.5	3.2	10.0	6.5	3.0	5.2	9.3	-

問 20 で「利用している」と回答された方にお伺いします。

問 20-1 必要な情報をどこから入手していますか。

「行政の窓口や広報「げんきみね。」」が 80.3%で最も高くなっています。次いで「社会福祉協議会の窓口や「社協だより」」が 51.2%、「自治会の回覧資料」が 40.2%で続いています。

(MA) n=127



【その他回答】

その他	類似回答数
医師	1
地域互助組織	1
病院	1

<問20-1 × 性別クロス>

『男性』は『女性』に比べて、「インターネット」の割合が高くなっています。

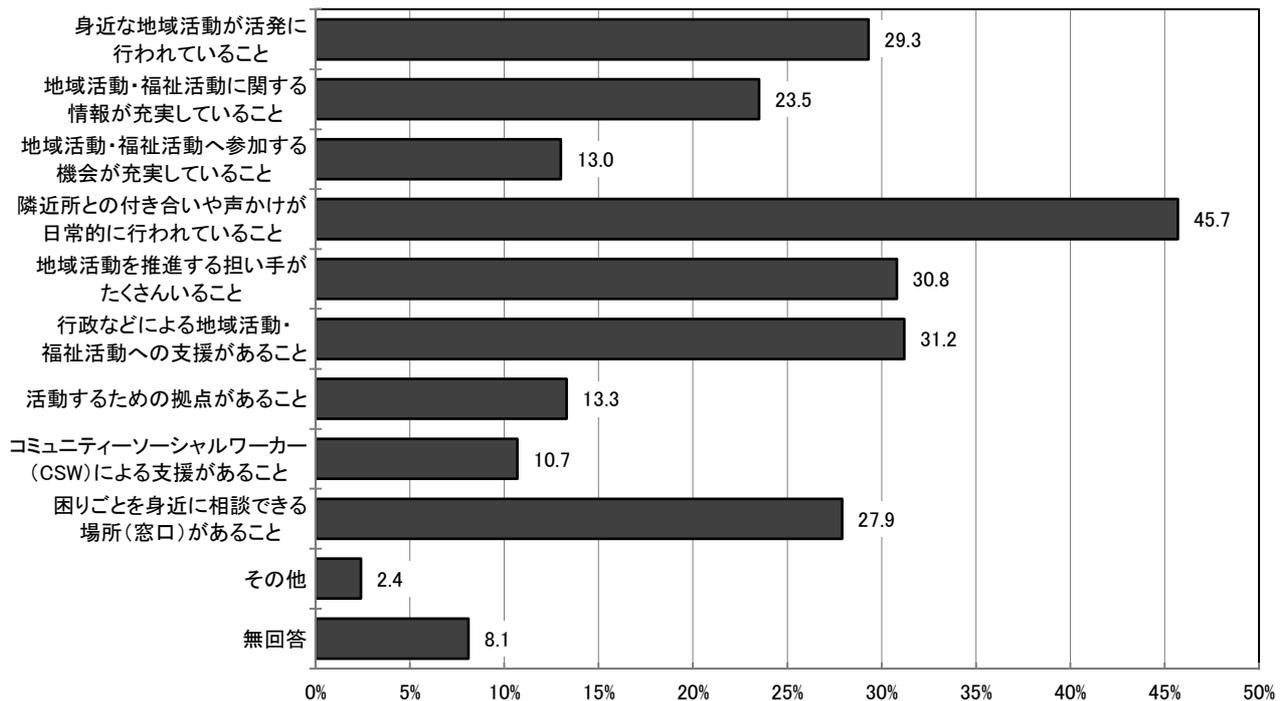
	全体 n=127	男性 n=47	女性 n=76
行政の窓口や広報「げんきみね。」	80.3	76.6	81.6
市の公式ホームページ	26.8	36.2	22.4
市の安全・安心メール	19.7	19.1	21.1
市の防災行政アプリ「ライフビジョン」	18.9	21.3	18.4
社会福祉協議会の窓口や「社協だより」	51.2	51.1	50.0
社会福祉協議会のホームページ	10.2	19.1	5.3
自治会の回覧資料	40.2	42.6	35.5
民生委員・児童委員	16.5	25.5	11.8
地域の活動やサークル	11.8	21.3	6.6
ボランティアやNPO	2.4	4.3	1.3
福祉・介護事業所や福祉団体	22.0	27.7	19.7
新聞・雑誌・テレビ・ラジオ	21.3	19.1	21.1
近所の人や知人	18.9	17.0	19.7
家族や親戚	9.4	6.4	9.2
インターネット	14.2	25.5	7.9
SNS	3.9	10.6	-
その他	2.4	4.3	1.3
無回答	-	-	-

7 これからの地域福祉のあり方について

問 21 あなたは、身近な地域で住民が助け合い、支え合うために、どのようなことが大切だと思いますか。

「隣近所との付き合いや声かけが日常的に行われていること」が 45.7%で最も高くなっています。次いで「行政などによる地域活動・福祉活動への支援があること」が 31.2%、「地域活動を推進する担い手がたくさんいること」が 30.8%で続いています。

(MA) n=663



【その他回答】

その他	類似回答数
コンプライアンスがあること	1
やる気のある人	1
外部のコーディネーター	1
健康家族	1
個々の意識変容のための学習	1
個人の主体性、積極性、スキル	1
個人情報を守られること	1
高齢化が進みすぎているため、若年層の負担が大きすぎる	1
市の今の考えでは無理	1
若い人たちに、美祿の良さを広めて行く必要がある。そうしないと、若い人たちが出て行く。そうなると助け合いも不可能になる。	1
代償	1
地域と美祿市の企業との連携も必要だと思う	1
町単位で民生委員、区長、福祉委員の交流会を開催してほしい	1

<問21 × 年齢別クロス>

『10・20歳台』で「身近な地域活動が活発に行われていること」、『80歳以上』で「困りごとを身近に相談できる場所(窓口)があること」の割合が高くなっています。

	全体 n=663	10・20歳台 n=31	30歳台 n=40	40歳台 n=92	50歳台 n=99	60歳台 n=154	70歳台 n=216	80歳以上 n=18
身近な地域活動が活発に行われていること	29.3	54.8	35.0	29.3	27.3	29.9	24.1	38.9
地域活動・福祉活動に関する情報が充実していること	23.5	16.1	17.5	19.6	20.2	25.3	28.2	11.1
地域活動・福祉活動へ参加する機会が充実していること	13.0	19.4	17.5	17.4	12.1	11.7	11.6	-
隣近所との付き合いや声かけが日常的に行われていること	45.7	51.6	32.5	48.9	42.4	42.9	47.2	72.2
地域活動を推進する担い手がたくさんいること	30.8	29.0	30.0	29.3	38.4	37.7	25.5	16.7
行政などによる地域活動・福祉活動への支援があること	31.2	25.8	22.5	26.1	33.3	34.4	31.0	38.9
活動するための拠点があること	13.3	19.4	17.5	16.3	15.2	14.9	9.3	-
コミュニティーソーシャルワーカー(CSW)による支援があること	10.7	12.9	10.0	13.0	11.1	13.0	7.9	11.1
困りごとを身近に相談できる場所(窓口)があること	27.9	16.1	20.0	27.2	29.3	33.8	25.9	50.0
その他	2.4	-	10.0	3.3	3.0	1.9	1.4	-
無回答	8.1	-	7.5	2.2	5.1	8.4	13.9	5.6

<問21 × 地区別クロス>

『豊田前』で「行政などによる地域活動・福祉活動への支援があること」「困りごとを身近に相談できる場所(窓口)があること」、『於福』で「困りごとを身近に相談できる場所(窓口)があること」、『厚保』で「隣近所との付き合いや声かけが日常的に行われていること」の割合が高くなっています。

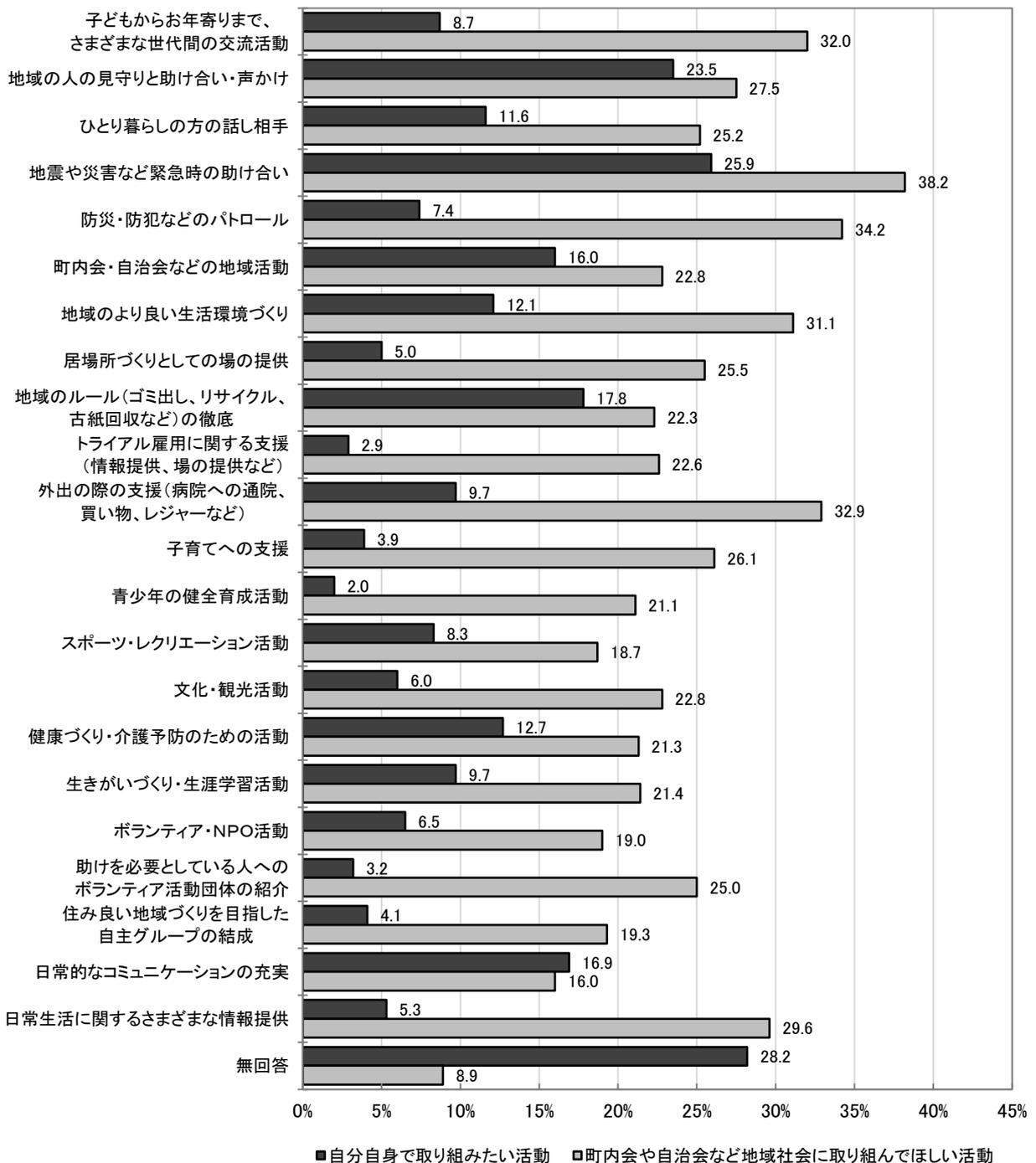
	全体 n=663	大嶺 n=191	伊佐 n=87	豊田前 n=33	於福 n=43	厚保 n=53	美東 n=119	秋芳 n=121
身近な地域活動が活発に行われていること	29.3	28.3	33.3	21.2	18.6	35.8	29.4	29.8
地域活動・福祉活動に関する情報が充実していること	23.5	22.0	24.1	9.1	30.2	24.5	22.7	24.8
地域活動・福祉活動へ参加する機会が充実していること	13.0	15.7	13.8	15.2	7.0	7.5	12.6	10.7
隣近所との付き合いや声かけが日常的に行われていること	45.7	38.7	43.7	42.4	41.9	66.0	49.6	50.4
地域活動を推進する担い手がたくさんいること	30.8	30.9	26.4	27.3	23.3	30.2	33.6	34.7
行政などによる地域活動・福祉活動への支援があること	31.2	32.5	31.0	42.4	30.2	24.5	31.1	28.9
活動するための拠点があること	13.3	15.2	12.6	9.1	7.0	3.8	13.4	15.7
コミュニティーソーシャルワーカー(CSW)による支援があること	10.7	11.0	9.2	12.1	11.6	11.3	13.4	8.3
困りごとを身近に相談できる場所(窓口)があること	27.9	26.7	27.6	39.4	39.5	28.3	25.2	26.4
その他	2.4	3.7	1.1	-	4.7	-	2.5	2.5
無回答	8.1	8.4	6.9	9.1	11.6	5.7	7.6	9.9

問 22 地域福祉を進めていくにあたって、自分自身で取り組みたい活動は何ですか。

自分自身で取り組みたい活動では「地震や災害など緊急時の助け合い」が 25.9%で最も高くなっています。次いで「地域の人の見守りと助け合い・声かけ」が 23.5%、「地域のルール(ゴミ出し、リサイクル、古紙回収など)の徹底」が 17.8%で続いています。

町内会や自治会など地域社会に取り組んでほしい活動では「地震や災害など緊急時の助け合い」が 38.2%で最も高くなっています。次いで「防災・防犯などのパトロール」が 34.2%、「外出の際の支援(病院への通院、買い物、レジャーなど)」が 32.9%で続いています。

(MA) n=663



<問22 町内会や自治会など地域社会に取り組んでほしい活動 × 地区別クロス>

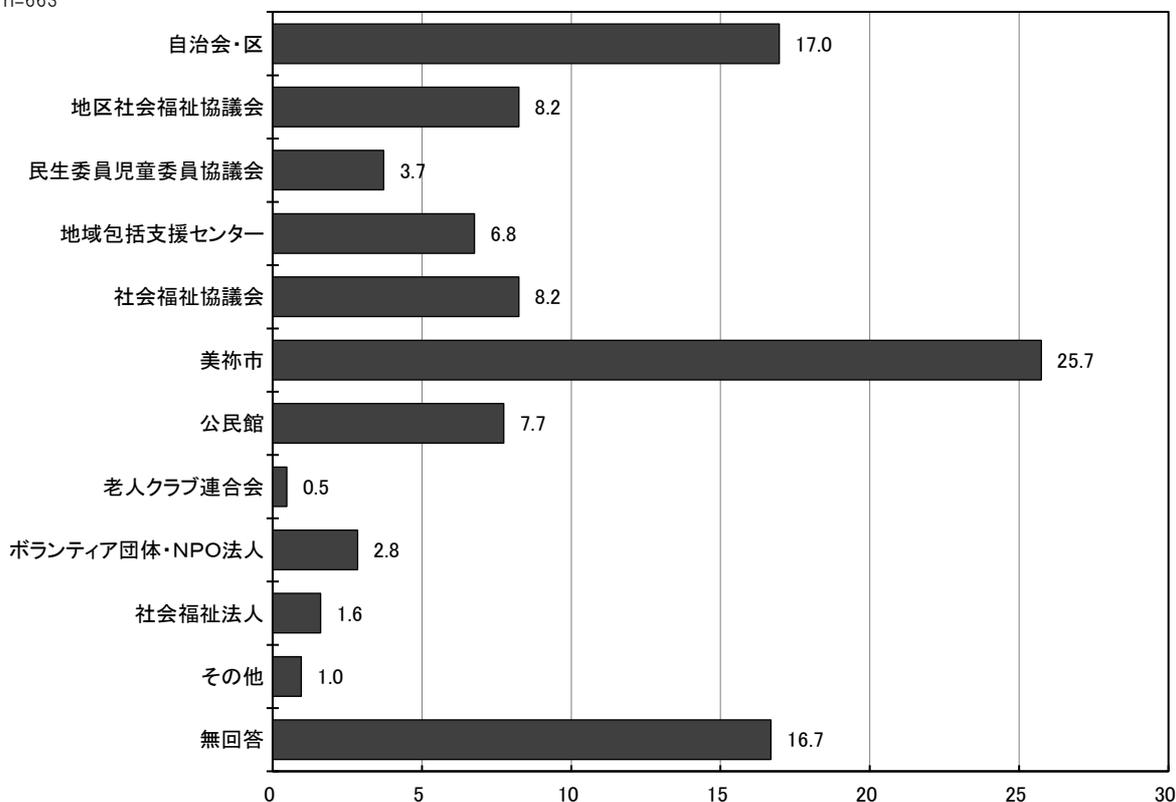
『豊田前』で「町内会・自治会などの地域活動」「居場所づくりとしての場の提供」「地域のルール(ゴミ出し、リサイクル、古紙回収など)の徹底」「外出の際の支援(病院への通院、買い物、レジャーなど)」「スポーツ・レクリエーション活動」「ボランティア・NPO活動」、『厚保』で「地域のより良い生活環境づくり」、『秋芳』で「外出の際の支援(病院への通院、買い物、レジャーなど)」の割合が高くなっています。

	全体 n=663	大嶺 n=191	伊佐 n=87	豊田前 n=33	於福 n=43	厚保 n=53	美東 n=119	秋芳 n=121
子どもからお年寄りまで、さまざまな世代間の交流活動	32.0	34.6	31.0	33.3	23.3	37.7	30.3	31.4
地域の人の見守りと助け合い・声かけ	27.5	28.3	24.1	36.4	30.2	30.2	24.4	25.6
ひとり暮らしの方の話し相手	25.2	28.3	19.5	30.3	27.9	26.4	22.7	22.3
地震や災害など緊急時の助け合い	38.2	39.8	31.0	45.5	34.9	37.7	35.3	43.8
防災・防犯などのパトロール	34.2	34.0	34.5	36.4	25.6	34.0	31.1	39.7
町内会・自治会などの地域活動	22.8	24.1	20.7	33.3	16.3	30.2	17.6	23.1
地域のより良い生活環境づくり	31.1	27.2	24.1	27.3	25.6	41.5	31.9	39.7
居場所づくりとしての場の提供	25.5	24.6	20.7	39.4	23.3	32.1	21.0	26.4
地域のルール(ゴミ出し、リサイクル、古紙回収など)の徹底	22.3	19.4	19.5	36.4	25.6	22.6	22.7	23.1
トライアル雇用に関する支援(情報提供、場の提供など)	22.6	25.1	19.5	24.2	11.6	26.4	20.2	24.8
外出の際の支援(病院への通院、買い物、レジャーなど)	32.9	33.5	19.5	45.5	25.6	28.3	20.2	49.6
子育てへの支援	26.1	25.7	25.3	30.3	18.6	26.4	25.2	28.1
青少年の健全育成活動	21.1	21.5	18.4	30.3	18.6	26.4	16.8	22.3
スポーツ・レクリエーション活動	18.7	17.8	20.7	33.3	18.6	24.5	13.4	16.5
文化・観光活動	22.8	23.0	21.8	27.3	11.6	28.3	18.5	26.4
健康づくり・介護予防のための活動	21.3	23.6	20.7	30.3	18.6	24.5	13.4	22.3
生きがいづくり・生涯学習活動	21.4	22.5	20.7	24.2	14.0	26.4	20.2	19.8
ボランティア・NPO活動	19.0	18.8	16.1	30.3	16.3	24.5	16.0	19.0
助けを必要としている人へのボランティア活動団体の紹介	25.0	25.1	21.8	30.3	20.9	26.4	21.8	29.8
住み良い地域づくりを目指した自主グループの結成	19.3	20.4	16.1	27.3	11.6	22.6	16.8	20.7
日常的なコミュニケーションの充実	16.0	15.2	16.1	18.2	16.3	24.5	11.8	15.7
日常生活に関するさまざまな情報提供	29.6	30.9	31.0	36.4	16.3	28.3	26.9	29.8
無回答	8.9	9.4	11.5	15.2	18.6	3.8	9.2	4.1

問 23 あなたは、地域の担い手としてどこに役割を期待しますか。最もあてはまるものから順に3つ以内で選択してください。

「美祢市」が 25.7%で最も高くなっています。次いで「自治会・区」が 17.0%、「地区社会福祉協議会」が 8.2%となっています。

(各 SA) n=663



※加重集計：1位5点、2位3点、3位1点として計算し、算出

【その他回答】

その他	類似回答数
特に期待していない	2
外部のインストラクター、コーディネーター、移住者	1
個々人	1
国、県	1
山口県	1
山口市、長門市	1
市民	1
自治会や区とって区切らず、美祢市に住む退職後の元気な人、若い人、個人個人	1
小中学校教員支援活動	1
地域住民	1
特になし	1
美祢市役所	1

問 24 身近な地域における支え合い・見守りを進めていくことにあたって、何か具体的なご意見はありますか。ご自由にご記入ください。(FA)

内容
小学生の登下校の見守りを引き続きお願いしたい。自分で見つけた新しい道がどこに続いているのか気になって脇道にどんどん進んでいっている子がいて、その場で注意したが、山道などは危ないと感じた。具体案が思い浮かばず申し訳ない
高齢化がかなり進んできて一人暮らしの世帯の増える中、生存、安否確認のできる体制づくりを望む。例えば郵便配達、または新聞配達の際に郵便物や新聞がポストにたまっている場合、声かけ確認をするなど
情報交換のため、町内単位で区長、福祉員(兼務あり)の交流会を年2回くらい開催してほしい。社協、包括支援センター、警察、民生委員も参加
美祿市では期待できない
個人でなにに困っているのかはさまざまだと思うので、意見を聞いて考えたほうがよいと思う。ただこのような質問の多いアンケートは答えづらいので、質問は2個程度にしてほしい
アンケートに記入すると言っても、何ごととも幼少期からの教育環境が大切であり、教育による指導が大切であると思う。教育に携わる人、またそれに関わる環境が一番大切だ。自然な流れでできるように、一人ひとりの自覚のもとに行われるようにすることが大切だ。行政の関わりはとても重要だ。組織は職員の異動があり、継続して専門的に行動できる部署の部分がどの課でも必要であると思われる
市外からの移住者が増えるくらい魅力のある美祿市にしていく必要があるのかなと思う。人口が減っている今、しっかり諸活動ができるよう、若い人たちに頑張ってもらうためにも、暮らしやすい地域づくりをしていきたい
高齢者が多くなりなかなか難しい
老人が気軽に立ち寄れる場所を作ってもらいたい 老人サロン、カフェ、軽食を気軽に取れたり、話ができる場所 経済的、困りごとを相談できる場所を作ってもらいたい。もうあるのかもしれないが私は知らない 生活保護を受ける前に、相談できる人につながりやすいシステムの構築 地域ごとに人望のある人を置いてほしい。置いてあるのかもしれないが私は知らない
地域性もあると思うが高齢化が進み自身の健康、生活を維持することで一杯だと思う。若い世代の少ない地域では時には、立ち入らない程度に目配り、気配りを心がけて安全を確保することも必要だと思う
個としては限界があるので公の助けを強くしていく必要があると思う 年配の人が多いため、若い人を多く投入するように公の人の参加を期待する
地域で同世代の人と関わりが持てるイベントがあれば交流が深まり、互いに面識があれば見守り意欲が増す
個人主義が重視される傾向が強く、まとまりがなくなっている。役員など順番制にして、全体的に視野を広げていくことを考える必要がある
体が不自由なため、なかなか思うようにいかず助けを求める
一人暮らしの人などは一人になり孤独を感じてしまうので、誰か人と話すことによって、気持ちも少しは楽になると思うので、声かけなどをしてコミュニケーションを取ったらよいと思う
要所要所に防犯カメラ設置
足が悪いので市役所への用事はいつも主人が行く。主人も足が悪く、耳も悪いので、何度も聞いたり大声になったりする。その都度嫌な思いをして帰ってくる。元気そうでも体の弱い人、耳の悪い人、目の悪い人、高齢者はいろいろな人がいる。せめて受付に出てくる人は、もう少しそのあたりを観察していただき、いろいろな人がいるとわかってほしい。いつもお世話になっていると思っているが、少しのことで気持ちが落ち込んでしまう
JAを解体して農林業の再生を行うことにより、若者の未来への希望をつなぎ、活性化を図る
近所のみならずよく話をすること 少数単位の区が重要である
現在、私、家族がそのようなことに直面しておらず、問題などなく生活しているのでよくわかっていないのかもしれない
地域住民のコミュニケーション
高齢者のための買い物支援、配食サービス 子ども達のための子ども食堂の充実
福祉活動について、まず自分自身が心身ともに健康でなければできない。また、経済的にもある程度余裕もなければできないことだ。まずそれから考えていくことが大切ではないかと思う
秋芳町内は買い物のできるスーパーがなく、高齢者は困っているのではないかと思う
災害時における地域の助け合いの活動は全く整っていない
平日頃から地域や近所の人たちとコミュニケーション、声かけ、あいさつなどをしていくことが、いざという時に相談しやすくなると思う
防犯などのパトロール 防犯カメラの設置
頼らない、期待しない、求めない

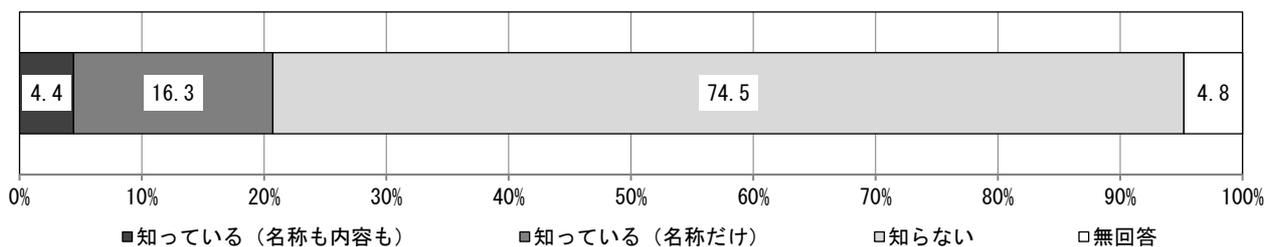
内容
若い世代に積極性を持ってほしい
夫婦2人暮らしで現在はなんとか暮らしているが、これから先、通院や買い物など不安がある
支え合い、見守りを進めるにも交通手段は必要なので、自動運転を国と話し、特区として行うことはできないだろうか 自動運転車が市内を走れば多くの高齢者は助かる。技術的に大丈夫なので後は保険問題だけのような気がする それと同時に移住者募集もしたい
地域の担い手としてそこに住む若い力が必要だと思うが、若い人は会社に所属していてどうしても地域所属感は薄く、時間的、金銭的にも余裕がない。そのような人にも参加してもらえるように、地域貢献が目に見えるようにポイント化し、地域で使えるクーポンなどを付与するような仕組みを設け、アプリ(相互間の情報発信、情報交換なども含む)で運用するなどして見るのはどうだろうか。若い人の参加や交流、グループ発生など期待できないだろうか
自然遊び支援およびレスキュー専任育成活動 美祢市を囲む山々の整備および秋吉台地域の中国自然歩道、標識などの整備 レスキュー対応組織充実
福祉とは関係ないが問4①でそうは思わないを選んだ理由について。いつも道路沿いの電線と木が当たっているのが気になる。枝が大きくなる前に切るべきだが、私有地ではない場所は市や県がするべきだと思う。木が原因で歩道も暗くなり、虫も増え、雪が降ったら溶けない。そこを小学生が通学しているのを見ると心配になる。また停電も心配になる
地域住民が自らの地域において支え合い、見守りを進めていくという意識を持つようにする。そのためには行政と行政に勤める職員の意識と知識の向上が必要である 自分でできることは自分でする。地域でできることは地域です。それでもできないことを行政が責任を持って行う。それをもとに相互の連携により地域づくりの組み立てを行う
地域住民として近所の人とあいさつや会話をすることで、お互いに見守ったり見守られたりしていると思っている。ただ、冬場はお互いあまり外へ出なく、一人暮らしの人は特に最近見ない、電話もない、声もかけづらい、などの人もいる。あまり近づきすぎても疎ましく思ったり思われたりするような付き合いが難しいと思っている
私の住んでいる地区の民生委員はいろいろ気遣ってくれる。感謝している
近所でもほとんど顔を合わせることもないので、なにかコミュニケーションが取れる場があればよいと思う
穏やかに接することに気を付けている
自治会廃止
65歳以上のシニア層と高齢者層でもつながりが希薄であり、さらに若年層が参画できていないように感じる。自分の地域(行政区)では特につながりが薄く、家庭ごとでいたいのは解決しているイメージ。余裕のある年代の人たちが中心となって、楽しく暮らしていく工夫を伝えていけばうまく仕組みができるのではないかと思う。若年層には負担が大きいのでこれ以上の期待はしないほしい
高齢になると役を受けられなくなる人がいる。どうしたらよいだろうか。近所づきあいだけは大事だと思う
現在は近所の人顔もほとんど知らない状態。なにか楽しいイベントなどがあり、自然と交流するようなきっかけがあればお互いに無理のない支え合い、見守りができそうな気がする
各家庭においてさまざまな事情があると思うので一律ではなく気軽に参加できるボランティアの内容や支援であれば子育て世代でもできることはあると思う。プチボランティアのようなことであれば地域のためにしてみたい
地域が集まれるのは公民館か旧廃校舎なので、もっと利用しやすいものにしてほしい。規制が多いのでは。毎週なにかしら行事や会合などを行い、地域が楽しく集まれる場所を作ってほしい
一人暮らしの老人の見回りを定期的にしてほしい
美祢市の市政は右肩下がりの下り坂。他市との併合や町村への降格など未来のビジョンの見えないまま。またその危機意識の希薄化を認識し、このような状態を市も住民も逆手に取った施策の実施、地域づくりとして、究極の田舎づくりの構築も一案かもしれない
とにかく市は20から30年先の美祢市の状況を市民に提示し、住民に危機感を持たせないと市政だけではどうにもならない。官民一体の意識の助長を
排他的な考えをなくすこと
個々に費用負担を行い、その資源で地域を見守る
地域にどのような人が住んでいるのかわからない
地域の福祉従事者、関わりをされてる人の活動力は地域差があるように思う。人口もあるかもしれないが、今後老人が増えると思うので、市がもっと関わりを持つとよいかと思う また個人的な意見だが、個人情報もれすぎなこともあるように思う。地域の関わりをしている人の認識を高めていくことが必要ではないかと思う
行政がさらなる企業誘致に努力し、健全な財政を確保し、市民一人ひとりがなにごとにおいても恩恵を浴すること
市が中心となり、①行政区指導②行政区(地区)が先頭になり各地区への指導強化③地区単位を活発化(区長、各種団体)
地区を越えての関係は希薄だと感じる
地域の人たちで集まってなにか協力する機会がなく、地域のこともどこか他人事という感じがする 美祢市と言えばこれ、のようなものが思い浮かばず、市に誇りが持てていないかもしれない。なにもないよで終わってしまう

内容
現役世代でもITをあまり使いこなせない人も多く、学意識の低さによって自らハンディを抱えている人が多い印象。使いこなせば、支え合い、見守りにもつながる利用の仕方もある。使いこなせないことで、知識がなく、詐欺にあいやすくなったりするので、IT弱者の問題はこれからの時代の大きな課題だと思う
質問の答えにならないが、なにか地域で役に立てればと思うものの、自身の家庭で8年前まで親の介護を25年間、現在も継続した障害をもつ子どもの世話で精いっぱい
役所的な考え方で広く浅く福祉をしても具体的な解決に至らない 問題点をあげて、深掘りすることで問題点を探して効果的に進めていく お金で解決できること、お金では解決できない問題を考えてなぜ、なぜ、ならどうするで考える
今の世の中、昼も夜も安心してられない。地域でのパトロールも高齢者ばかりでなかなか解決には至らないと思う。行政で警察などで相談し、見回りを常にすることが大切なのは。自分たちの地域で声をかけあって身を守ることも大切だと思う
高齢者で車のない人でも、草刈、農業以外で、無理のない程度で気軽に働ける場所が身近にあればよいと思う 車のない人でも通えるスキルアップできる教室や習いごとなど、若い人と一緒に学べるような教室(学校、塾)などが増えるとよいと思う(月謝も収入に応じて)
高齢者には包括、ケアマネ、ヘルパー、デイサービスがある。サービスを受けられていない人もいるが、地域での見守りはある。連携が取れている場合もある。高齢者に対しての対応はされているが、年を取り家族にも頼めない、心に悩みを持っている飼っているペットに対しての、のちの対応にあたって、愛護団体のある日本でも無視されているように思う。亡くなったり、施設に入るとそのまま捨てられたり、野放しにされ、近所地域に迷惑をかけた。県自体が殺処分をうたっているのでもっと入り込んでケアをしてほしい。愛護団体との連携を取ってほしい。この地区でも猫を車から投げ捨てたりするのを見受けられた。行政が介入して、人と動物にやさしい市に。こうした取り組みはテレビ的にも注目され美祿市のプラスにもなると思う。長門では芸能人、ユーチューバー、韓国人も団体に寄付したり、訪問されたりしている
農業をしているが、近所に農業者がいなくなり困っている
自治会のほとんどが高齢者であり、お互いに支え合いが今後、難しくなると感じる 市などからの支援があればよいと思う
集會などがなにもない地域なので会うことがない。一人暮らしの人がどうしているかなとは思いますが、声をかけるチャンスが見つからない。家に押しかけるのも悪い気がするし、用事もない
ゴミ捨てのパトロール。他市より大型ゴミを持ってくる
身近なことで、お年寄りがバス停で寒中、1時間以上バスを待っているのを見ることがある。もっと買い物や病院に行く送迎バスや、車を出してあげるとよいと思う
ソーシャルネットワークを使ったデジタル回覧便などを、導入し、直接家がなくても良いシステム デジタルの既読有無でも所在確認は取れる 近所付き合いは、良くて悪くても良くない考える。 ほどほどの関係性のほうが良い。
地域的に高齢者が自動車の運転が必要不可欠と考えます、移動手段がないため自動車免許証の返納ができないのが現実かと考えます、自動車専用道路で高齢者の逆走、一旦停止をしない、信号無視の行動を見たことがあります。高齢者の移動手段などが担保できることで免許証返納が実現し事故など減少するのではないのでしょうか。移動手段が担保できていないのに、事故を起こした方が被害者になることは地域的にも責任があるのではないのでしょうか。
一人暮らし人口がますます増えていくし、空き家も多く孤立しがちなので、高齢者のためのコミュニティー充実を願います。 よく人を観察してその人にあった特色を合わせていくことが大事だと思います。
現在充実しすぎているので、社会福祉予算を減らして財務状態を良くしておいた方が、次世代に有益と考えます。マスト事項とベター事項を切り分け、更に優先順位をつけて小さく、かつ効率的な社会福祉であるべきではないかと考えます。
伊佐地区の土地陥没の問題が解決していない。 企業が標高-4m近く掘り進めているような場所で陥没がまだ起きている。堀越、伊佐、大嶺とう。賠償するところがない。
囀託員としての役割をもっと考えてほしい
誰でも利用できる総合的な交流施設。図書館や学童、子供食堂、託児所、託老所。 などの。憩いの場、が一体になった施設。
隣近所積極的な声かけ
お年寄りの声掛け
地域住民が当事者として興味関心をもって取り組むこと

問 25 あなたは、「美祢市再犯防止推進計画」を知っていますか。

「知らない」が 74.5%を占めています。

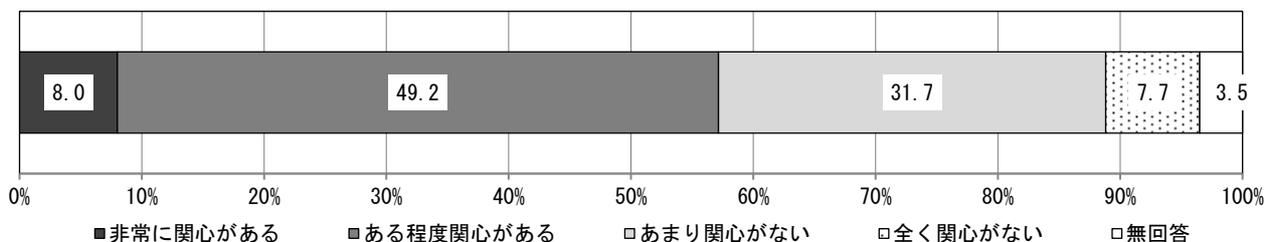
(SA) n=663



問 26 あなたは、「再犯防止」に関心がありますか。

「ある程度関心がある」が 49.2%で最も高くなっています。次いで「あまり関心がない」が 31.7%が続いています。

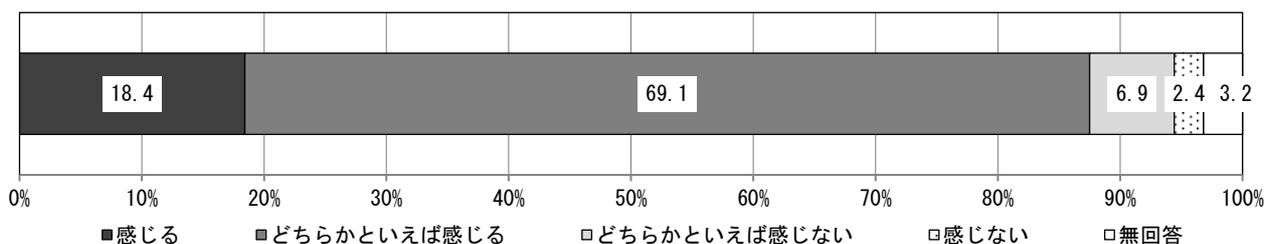
(SA) n=663



問 27 あなたは、美祢市が犯罪の少ない安全で安心な暮らしやすいまちだと感じますか。

「どちらかといえば感じる」が 69.1%を占めています。

(SA) n=663

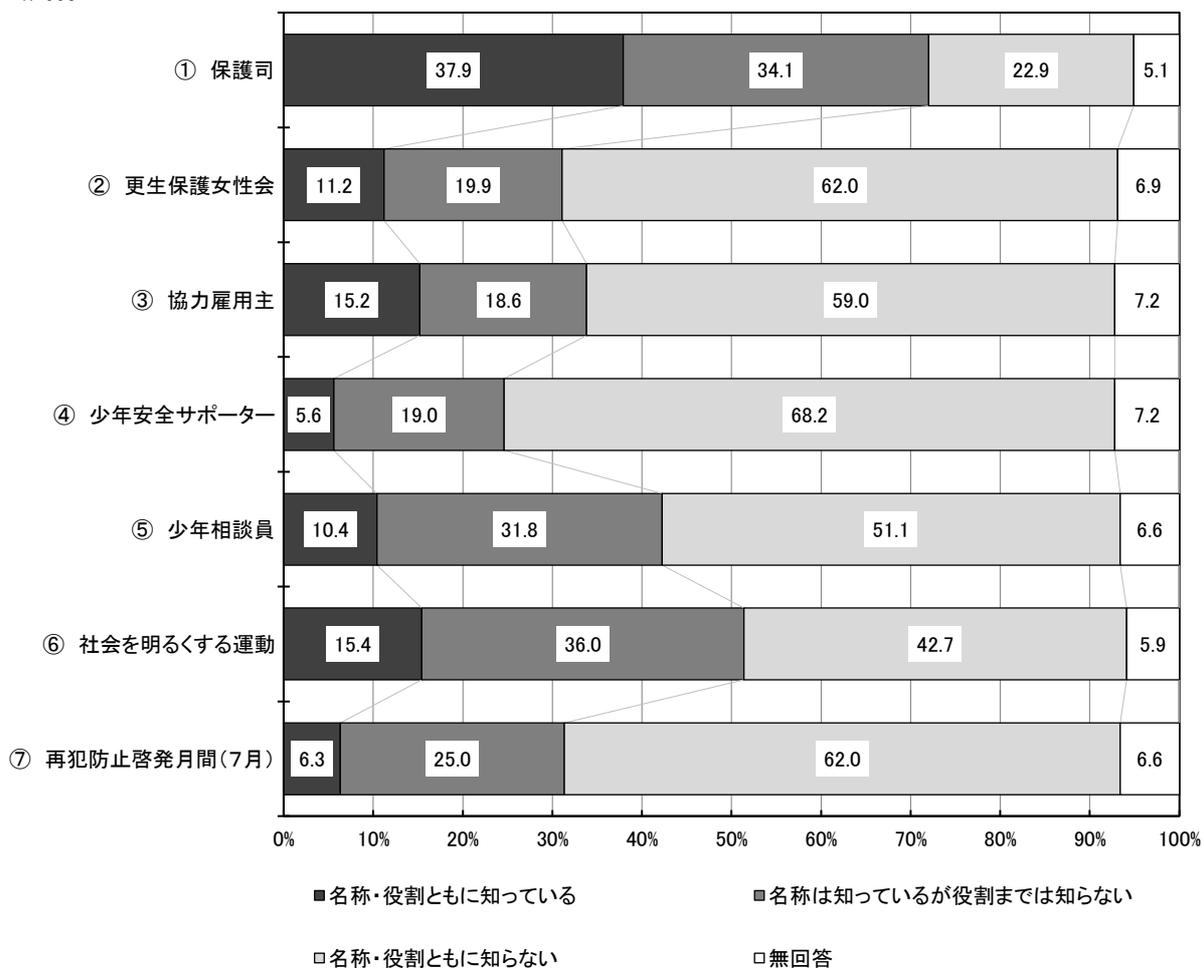


問 28 あなたは、次の再犯防止に協力している民間の協力者や取組について、名称や役割（活動内容）をご存じですか。

「名称・役割ともに知っている」では『① 保護司』『⑥ 社会を明るくする運動』『③ 協力雇用主』の順に高くなっています。

「名称・役割ともに知らない」では『④ 少年安全サポーター』、『② 更生保護女性会』『⑦ 再犯防止啓発月間(7月)』、『③ 協力雇用主』、『⑤ 少年相談員』で半数以上を占めています。

(各 SA) n=663



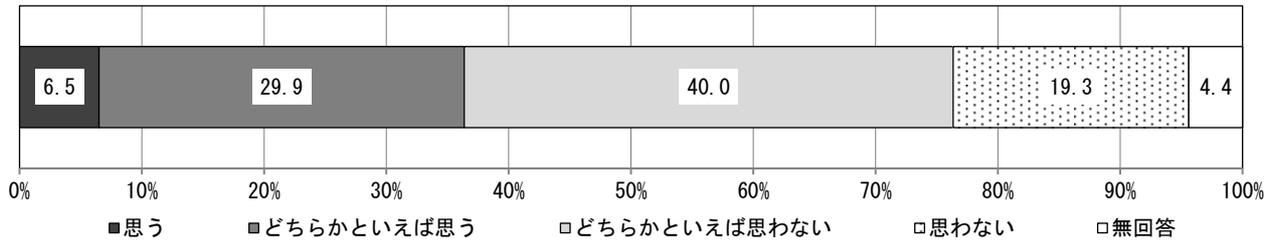
【その他ご存知の民間の協力者や取組がありましたらご記載ください】

その他ご存知の民間の協力者や取組がありましたらご記載ください。
外国人を監視する必要あり
秋吉台および周辺のパトロール会(おはやし会)
ふくの会(移住者)

問 29 あなたは、犯罪をした人の立ち直りに協力したいと思いますか。

「どちらかといえば思わない」が40.0%で最も高くなっています。次いで「どちらかといえば思う」が29.9%、「思わない」が19.3%が続いています。

(SA) n=663

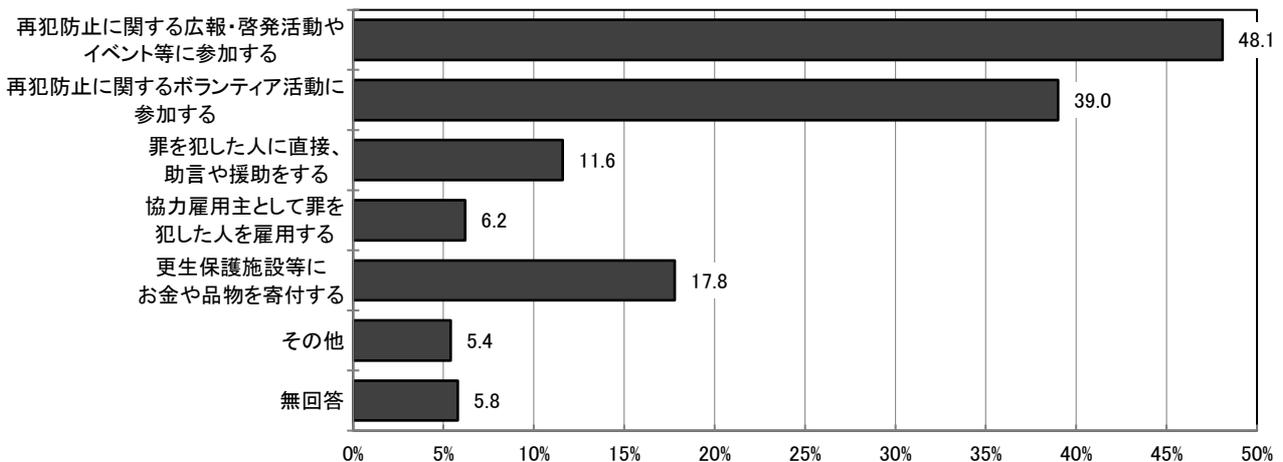


問 29 で「思う」「どちらかといえば思う」と回答された方にお伺いします。

問 30-1 どのような協力をしたいと思いますか。

「再犯防止に関する広報・啓発活動やイベント等に参加する」が48.1%で最も高くなっています。次いで「再犯防止に関するボランティア活動に参加する」が39.0%、「更生保護施設等にお金や品物を寄付する」が17.8%が続いています。

(MA) n=241



【その他回答】

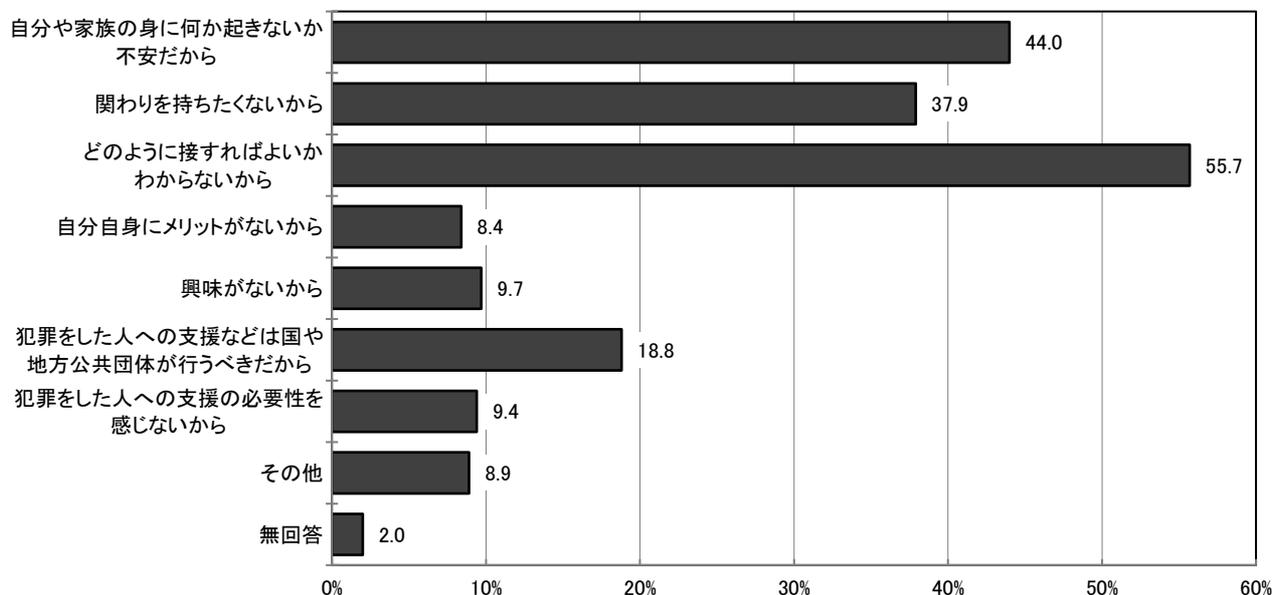
その他	類似回答数
見守る(ことしかできないが)	2
時間に余裕があれば	1
自分にできることがあれば	1
体力的に無理のない範囲で行うこと	1
地域で見守る	1
年齢的に思うが無理	1

問 29 で「どちらかといえば思わない」「思わない」と回答された方にお伺いします。

問 30-2 協力したいと思わない理由は何ですか。

「どのように接すればよいかわからないから」が 55.7%で最も高くなっています。次いで「自分や家族の身に何か起きないか不安だから」が 44.0%、「関わりを持ちたくないから」が 37.9%で続いています。

(MA) n=393



【その他回答】

その他	類似回答数
自分自身や家族が高齢で体調不安があり協力できない	4
時間がない	3
自分の回りのことでいっぱい	3
犯罪の内容によって協力したいかどうかが変わるから(犯罪内容による)	3
なにが役に立つのか、それが自分にできることなのか、よくわからない	1
悪いことをしたという意識のない人にかかる時間は無駄だから	1
加害者は生きる価値がないから	1
現在は時間的な余裕がないため	1
個人情報を漏らしたくない	1
今活動しているボランティアで手一杯のため、これ以上手を広げることができないから。また当案件に対する知識がないから	1
罪に復した者の住所氏名もわからないので、一般人と同じように接するしかない	1
私たち第三者が立ち直りのサポートに介入することではないと思う	1
自分の人格を確立したうえで接することが大切で、自信がない	1
自分自身、完璧な人間ではない	1
身近にそういう機会がなく、方法手段がわからないから	1
人を更生させる能力がないから	1
人間は生まれながら全て善人だから	1
努力が無駄になる時があると思うから	1
犯罪者当人が罪を償ってのちの社会復帰は大賛成だが、更生は本人の心の問題なので、医師なども含む専門家による正確な判断が必要だと思う	1
保護司が殺害された事件などあり心配、不安。こちらがよかれと思っても相方の思いが一致しているとは限らないから	1

その他	類似回答数
本人に意思がない限り変わらないと考えます。私の身近にもしそのような境遇の方がいて、その方自身が強く更生したいと思い、私自身の心を動かすようなら協力するはずです。	1
本人の意志や心がけが第一	1
余裕がない	1
立ち直らなくてよい。一生監獄にいてほしい	1
立ち直ること自体に期待を持ってない	1